令和６年度
COPD受診勧奨事業
効果検証報告書

令和７年４月

日本システム技術株式会社

未来を、仕掛ける。

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

目次

1 事業概要 …… 2
2 ハイリスク者効果分析 国保 …… 16
3 治療中断者効果分析 国保 …… 28
4 ハイリスク者効果分析 後期 …… 40
5 治療中断者効果分析 後期 …… 52
6 事業総括 …… 64

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

1．事業概要

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

1.1 COPDの現状と課題

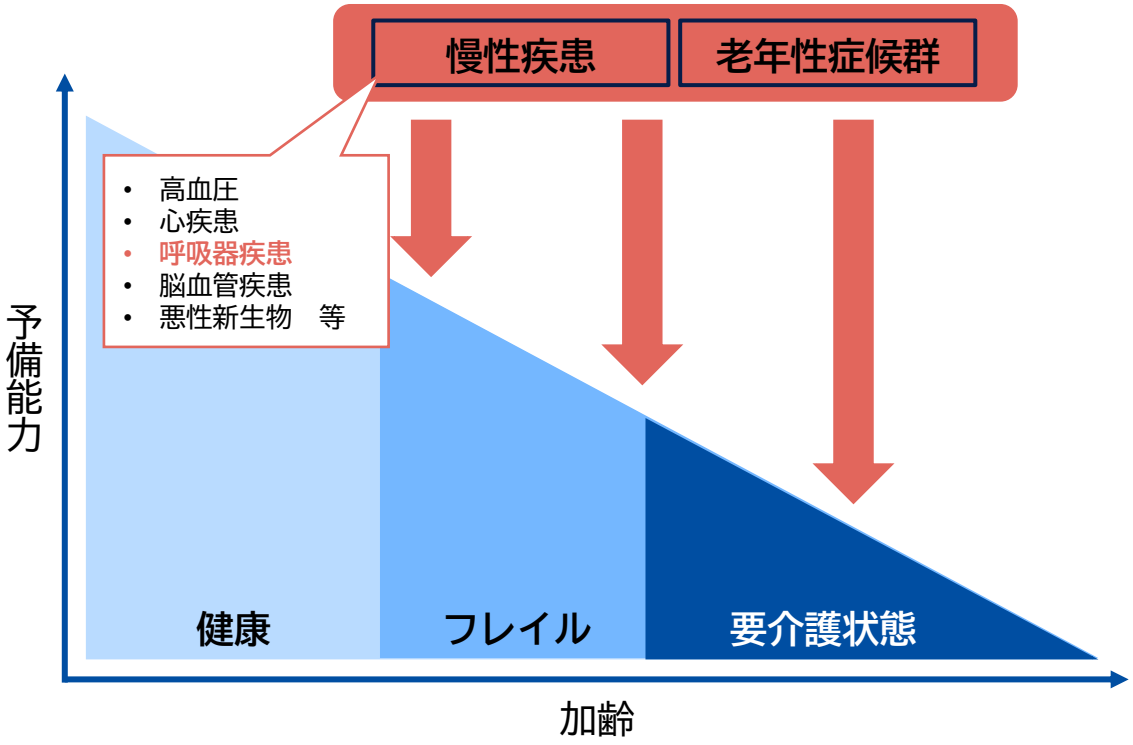
慢性閉塞性肺疾患（COPD）は主に長年の喫煙習慣が原因で呼吸機能が低下する疾患であり、要介護状態に移る一因として対策が必要である。

喫煙はCOPDのリスクの

90%

を占める

高齢者の健康状態の特性について

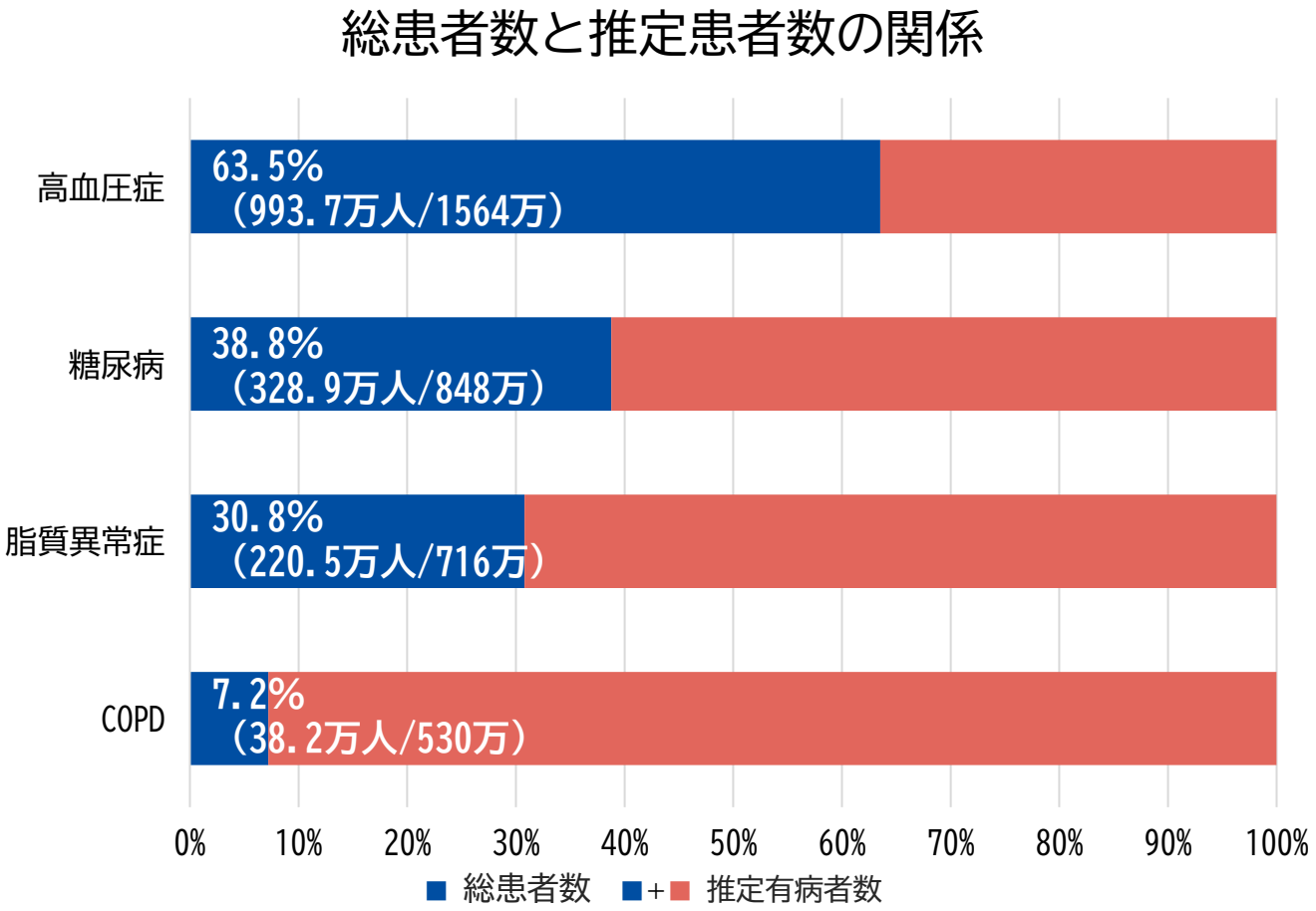


厚生労働省，厚生労働省HP「生活習慣病などの情報（e-ヘルスネット）喫煙」，2025年４月４日時点
厚生労働省保健局高齢者医療課，「高齢者の特性を踏まえた保健事業ガイドライン第２版」，2019年10月※図は一部改変

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

1.1 COPDの現状と課題

40歳以上のCOPD患者は530万人（推計）とされており、治療率が低いことが課題。



厚生労働省,厚生労働省HP「平成29年（2017）患者調査の概況」,2025年４月４日時点
Fukuchi Y. et al.,「COPD in Japan: the Nippon COPD Epidemiology study」,Respirology,volume 9,issue4,p.458-465
厚生労働省,厚生労働省HP「平成30年国民健康・栄養調査報告」2025年４月４日時点
日本生活習慣病予防協会,日本生活習慣病予防協会HP COPD（慢性閉塞性肺疾患）の調査・統計
「慢性閉塞性肺疾患（COPD）で治療を受けている総患者数は、38万2,000人　令和5年(2023)「患者調査の概況」より」, 2025年1月6日

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

1.1 COPDの現状と課題

「二十一世紀における第三次国民健康づくり運動（健康日本21（第三次））」において慢性閉塞性肺疾患（以下、COPD）は目標に「COPDの死亡率の減少」が掲げられている。また、COPDは国際的に重要な非感染性疾患（NCDs）の一つとして予防及び管理のための包括的な対策が重視されている。

◆ 二十一世紀における第三次国民健康づくり運動（健康日本21（第三次））抜粋

2　個人の行動と健康状態の改善

（一）　生活習慣の改善

喫煙は、がん、循環器病、糖尿病、ＣＯＰＤ（慢性閉塞性肺疾患をいう。以下同じ。）等の予防可能な危険因子であり、喫煙による健康被害を回避することが重要である。目標は、20 歳以上の者の喫煙の減少、20 歳未満の者の喫煙及び妊娠中の喫煙の防止について設定する。

歯・口腔の健康については、これが社会生活の質の向上に寄与すること等の観点から、歯科疾患の予防や口腔機能の獲得・維持・向上等の歯・口腔の健康づくりが重要である。目標は、歯周病予防、よく噛んで食べることができる者の増加及び歯科検診の受診者の増加について設定する。

（二）　生活習慣病（ＮＣＤｓ）の発症予防・重症化予防

高齢化に伴い生活習慣病（ＮＣＤｓ）の有病者数の増加が見込まれており、その対策は国民の健康寿命の延伸を図る上で引き続き重要な課題である。このため、生活習慣の改善等により多くが予防可能であるがん、循環器病、糖尿病及びＣＯＰＤに関する目標を別表第二のとおり設定する。なお、国際的には、これら４つの疾患は重要なＮＣＤｓとして捉えられ、予防及び管理のための包括的な対策を講ずることが重視されている。

がんは、我が国の主要な死因であり、禁煙等の生活習慣の改善を通じた予防等に取り組むことで、罹患率・死亡率の減少を目標とする。加えて、早期発見を促すために、がん検診の受診率の向上を目標とする。

循環器病は、我が国の主要な死因であり、脳血管疾患及び心疾患の発症の危険因子となる高血圧の改善、脂質高値の減少、これらの疾患による死亡率の減少等を目標とする。

糖尿病は、患者数が多く、重大な合併症を引き起こすおそれがあり、発症予防や重症化予防が重要である。このため、有病者の増加の抑制、血糖値の適正な管理、治療中断者の減少及び合併症の減少を目標とする。

また、循環器病及び糖尿病の発症予防・重症化予防のため、メタボリックシンドローム、特定健康診査及び特定保健指導に関する目標を設定する。

ＣＯＰＤは、喫煙が最大の発症要因であるため、禁煙による予防が効果的であるとともに、早期発見が重要である。予防・早期発見を通じ、死亡率の減少を目標とする。

厚生労働省，「二十一世紀における第三次国民健康づくり運動（健康日本 21（第三次））」，2023年５月31日

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

1.2 事業概要

■ 事業の目的

- 高松市の国民健康保険及び後期高齢者医療制度の被保険者のうちハイリスク者に対して疾患啓発及び、医療機関受診を促す勧奨通知を送付し、COPDの検査受診を促すことで被保険者の健康増進を図る
- 高松市の国民健康保険及び後期高齢者医療制度の被保険者のうち治療中断者に対して疾患啓発及び、医療機関受診を促す勧奨通知を送付し、治療再開を促すことで被保険者のCOPD重症化予防を図る

■ 事業の内容

① 特定健診の結果及びレセプトデータを分析し、COPDのハイリスク者もしくは治療中断者を特定する
② 個人宛の受診勧奨通知を年２回発送し、医療機関への受診を促す
③ レセプトデータを用いて、通知勧奨後の効果を分析する（COPDによる受診の有無等）

厚生労働省,「二十一世紀における第三次国民健康づくり運動（健康日本 21（第三次））」,2023年５月31日

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

1.2 事業概要

■ 事業スケジュール

高松市の国民健康保険及び高齢者医療制度の被保険者のうち、ハイリスク者及び治療中断者共に下記のスケジュールで事業を行った。

	2024年									2025年		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
データ受領：対象者抽出												
通知対象者選定												
通知発送１回目：2024年９月30日												
通知発送２回目：2024年10月31日												
データ受領：効果分析												
効果分析												
効果分析報告書提出												

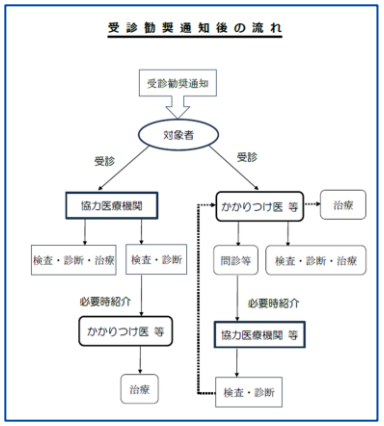
※上記のスケジュールは全体像のため、細かなデータ授受等の情報は掲載していない

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

1.2 事業概要

■ 通知デザイン（１回目）　※封書による発送

①ハイリスク者　※以下は抜粋。協力医療機関一覧や質問票などを同封。

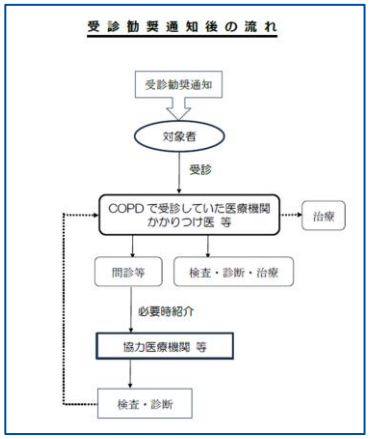


©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

1.2 事業概要

■ 通知デザイン（１回目）　※封書による発送

②治療中断者　※以下は抜粋。協力医療機関一覧や質問票などを同封。

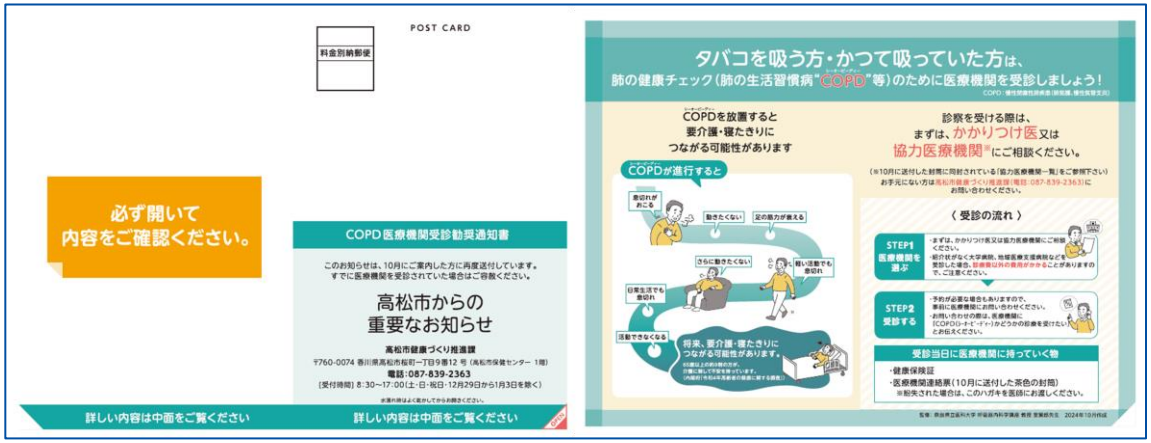


©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

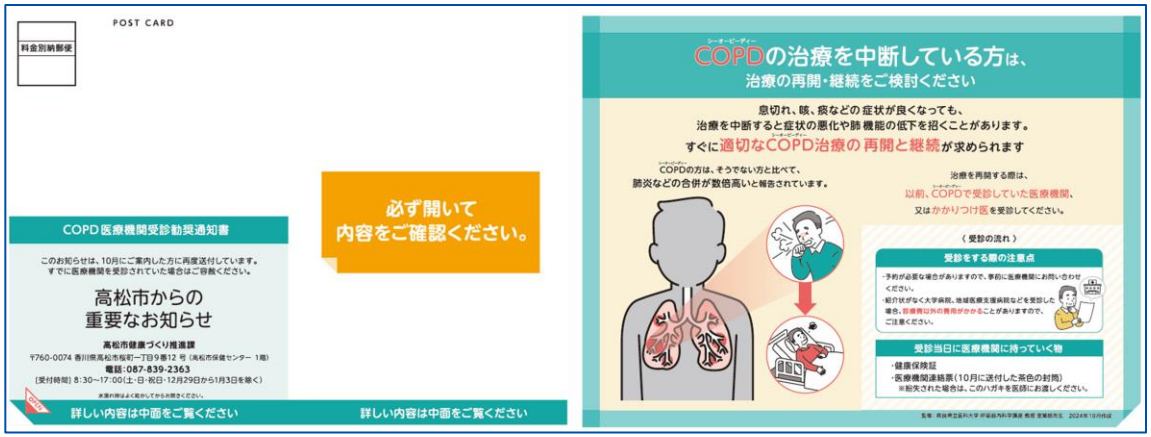
1.2 事業概要

■ 通知デザイン（２回目）　※ハガキによる発送

①ハイリスク者



②治療中断者



©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

1.3 用語定義

用語	定義
COPD診断者	レセプト上にICD-10の「J41」、「J42」、「J43」、「J44」の記載があり、確定診断がついている者
COPD受診者	レセプト上にICD-10の「J41」、「J42」、「J43」、「J44」の記載があり、確定診断または疑いがついている者
急性増悪者	COPD診断者においてSABAまたはSAMAの処方歴があり、加えてステロイドまたは抗菌薬の処方歴があり、さらにレセプト上で救急外来に関する診療行為の記載のある者
喫煙歴あり	特定健診の問診票で「喫煙習慣あり」または「吸っている」、「やめた」と回答した者
COPD治療歴	平成31年５月～令和６年４月の間に「医科」、「DPC」、「調剤」レセプトにCOPDの傷病名（確定）の記録がある
COPDでの医療機関受診	「医科」、「DPC」、「調剤」レセプトにCOPDの傷病名（確定）の記録がある
ハイリスク者	「特定健康診査受診者」かつ「喫煙歴あり」の者のうち、COPD診断が平成31年５月～令和６年４月の期間でない者
治療中断者	「COPD治療歴あり」かつ直近６カ月（令和５年11月～令和６年４月）以内に「医科」、「DPC」、「調剤」レセプトにCOPDの傷病名もしくはCOPD関連の医薬品の記載のなく、直近６カ月間の有資格者
通知対象者	「ハイリスク者」及び「治療中断者」に該当した者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

1.3 用語定義

用語	定義
効果分析対象者	「通知対象者」のうち通知発送前（令和６年５月～令和６年９月）の間に「COPDでの医療機関受診」をしていない者であって、２月時点で被保険者の資格を有する者
効果検証期間	令和６年10月～令和６年12月
協力医療機関	本事業の趣旨に賛同し協力を申し出ていただいたスパイロメトリー検査によるCOPDの診断が可能な高松市内の医療機関
スパイロメトリー検査	レセプト上に肺気量分画測定（請求コード： 160062610）の記載がある者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

1.4 使用データ一覧

■ 対象者抽出

データ名	期間
医科レセプト （21_RECODEINFO_MED.CSV）	平成31年５月審査分～令和６年４月審査分 （平成31年４月診療分～令和６年３月診療分）
DPCレセプト （22_RECODEINFO_DPC.CSV）	平成31年５月審査分～令和６年４月審査分 （平成31年４月診療分～令和６年３月診療分）
調剤レセプト （24_RECODEINFO_PHA.CSV）	平成31年５月審査分～令和６年４月審査分 （平成31年４月診療分～令和６年３月診療分）
被保険者管理台帳 （P26_006）	令和６年６月時点
特定健診データ （FKAC167）	平成31年度分～令和５年度分
後期高齢者医療健康診査データ （S26_019）	平成31年度分～令和５年度分

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

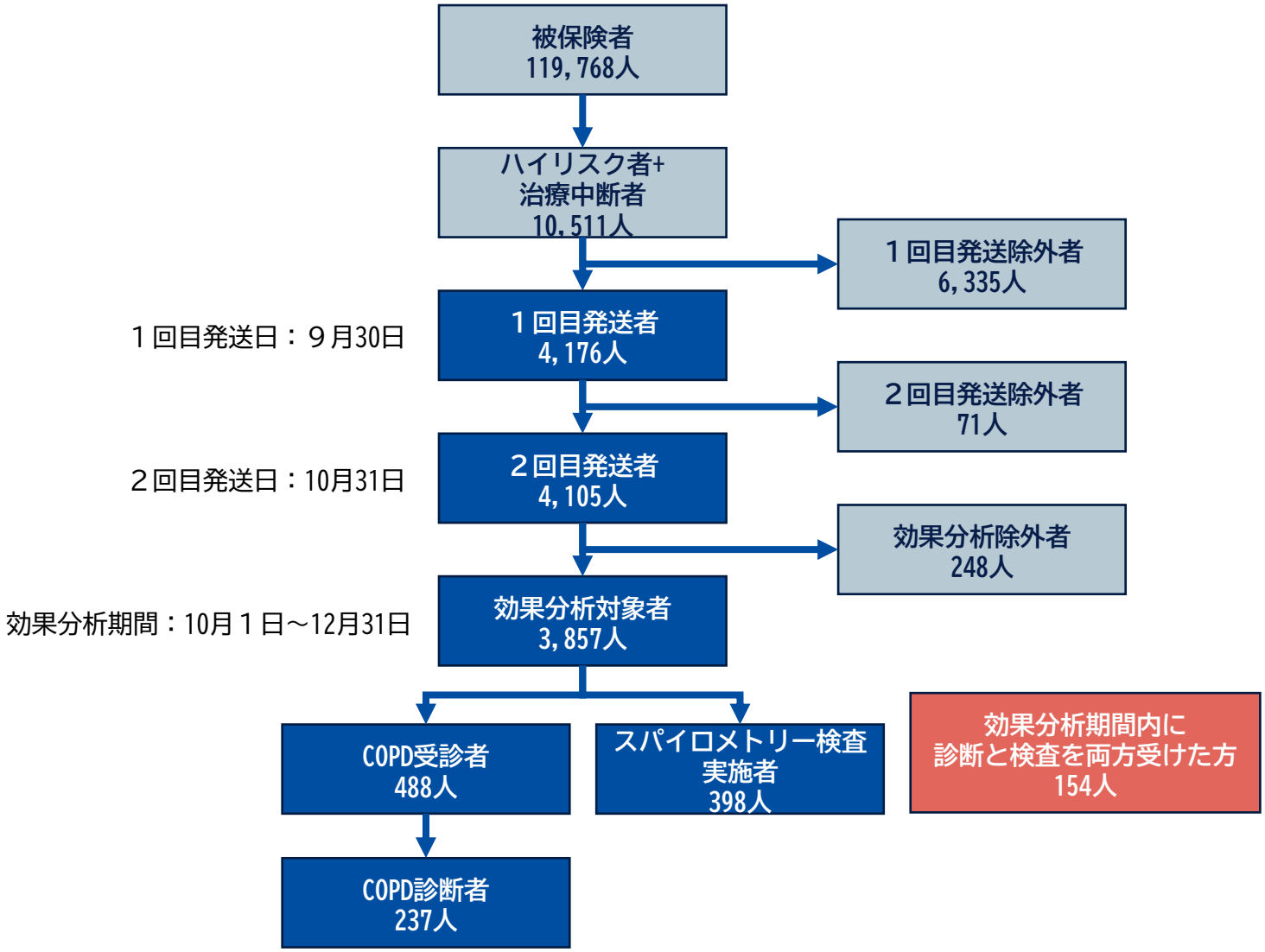
1.4 使用データ一覧

■ 効果分析

データ名	期間
医科レセプト （21_RECODEINFO_MED.CSV）	令和６年６月審査分～令和７年１月審査分 （令和６年５月診療分～令和６年12月診療分）
DPCレセプト （22_RECODEINFO_DPC.CSV）	令和６年６月審査分～令和７年１月審査分 （令和６年５月診療分～令和６年12月診療分）
調剤レセプト （24_RECODEINFO_PHA.CSV）	令和６年６月審査分～令和７年１月審査分 （令和６年５月診療分～令和６年12月診療分）
国保有資格者情報	令和７年２月時点
後期有資格者情報	令和７年２月時点

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

1.5 COPD受診勧奨事業の全体推移



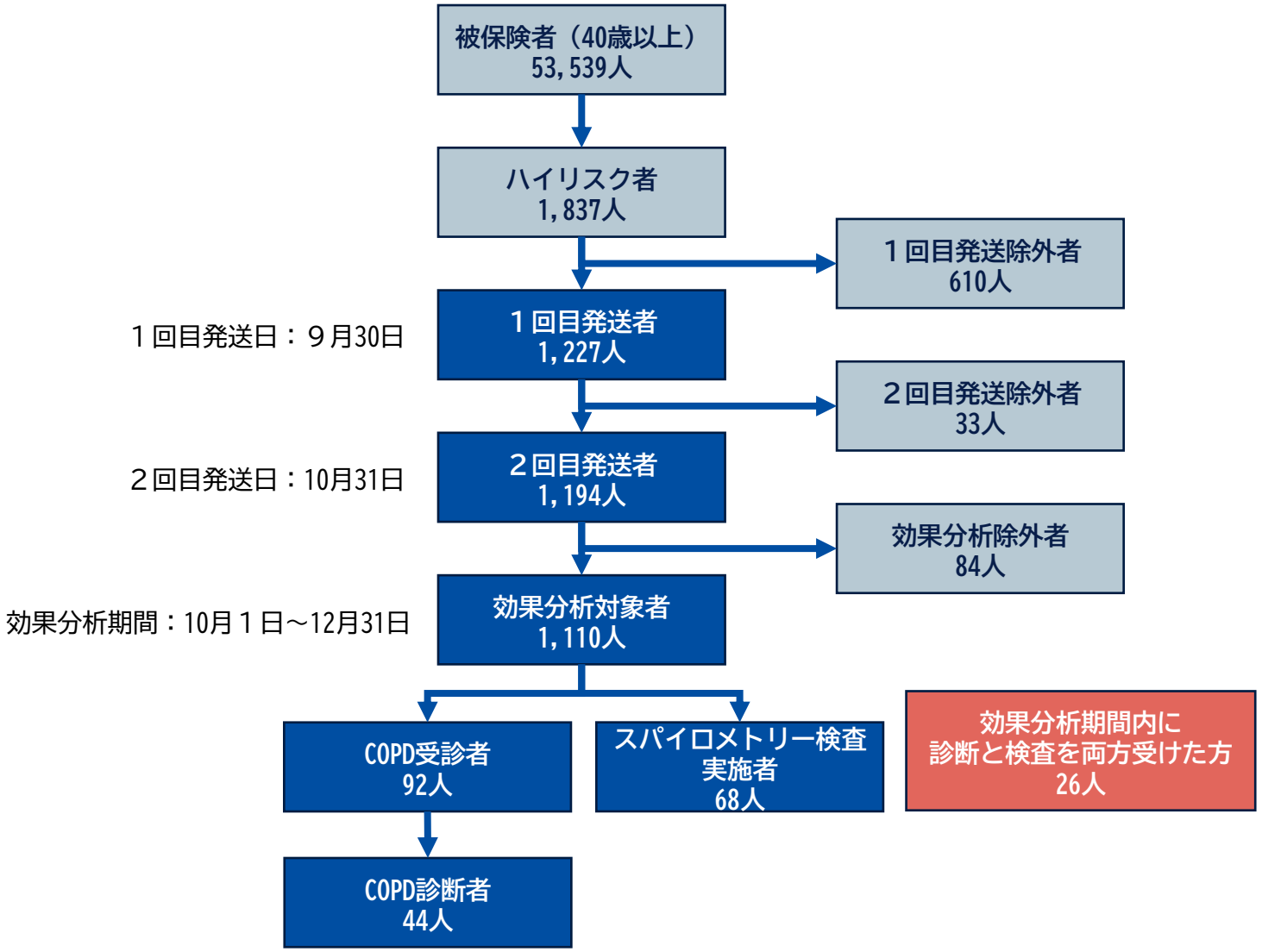
※被保険者：令和６年４月時点で国保（40歳以上）もしくは後期の被保険者資格を保有している者
※発送除外者：高松市による除外者
※効果分析対象者：令和７年２月時点で被保険者資格を保有している者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

2．ハイリスク者効果分析 国保

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

2.1 国保 ハイリスク者の推移

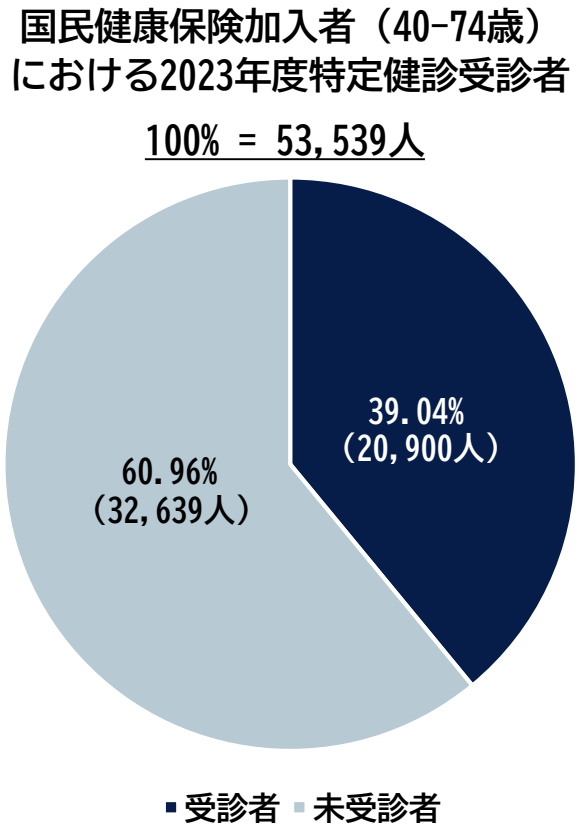


被保険者：令和６年４月時点で被保険者資格を保有している者
発送除外者：高松市による除外者
効果分析対象者：令和７年２月時点で被保険者資格を保有している者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

2.2 特定健診受診者数

2023年度における国民健康保険加入者（40-74歳）に対して、特定健診受診率は39.04%であった。

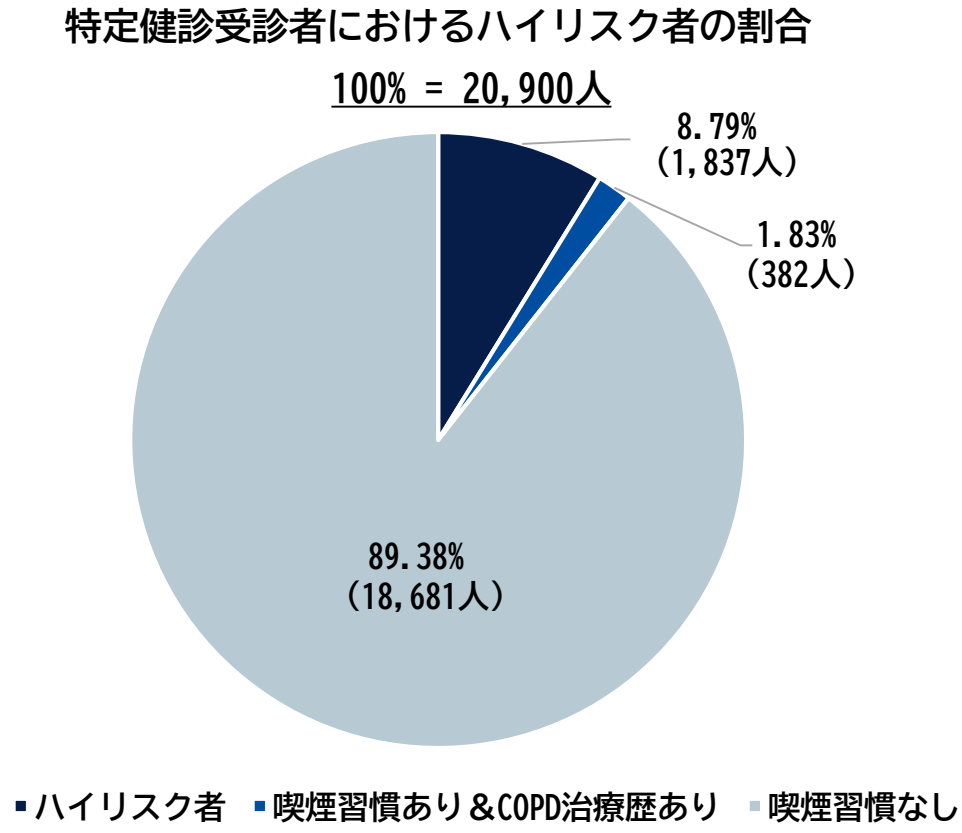


※2024年４月時点で被保険者資格を保有している者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

2.3 COPDハイリスク対象者

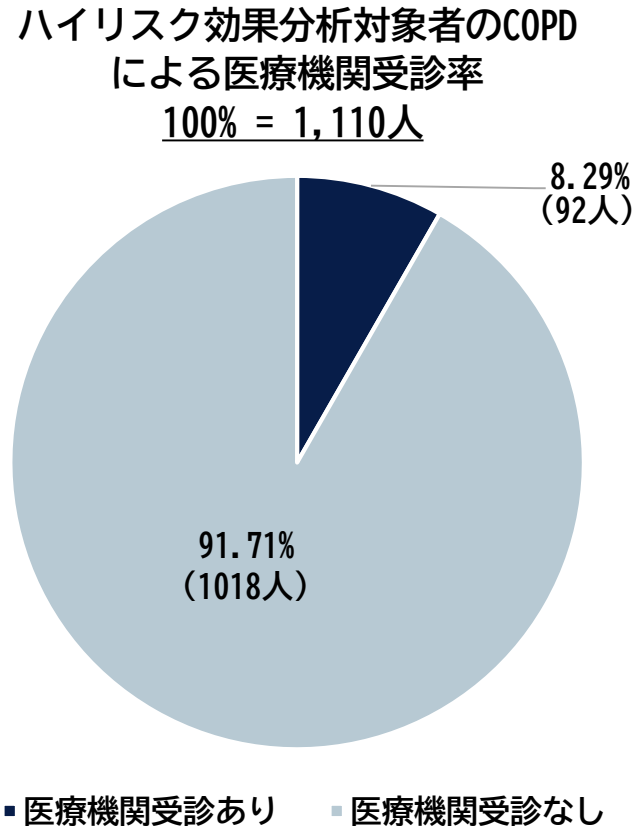
2023年度における特定健診受診者に対して、ハイリスク者の割合は8.79%であった。
また、喫煙習慣ありかつCOPD治療歴ありの割合は1.83%であった。



©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

2.4 医療機関受診率

ハイリスク効果分析対象者に対して、医療機関受診率は8.29%であった。

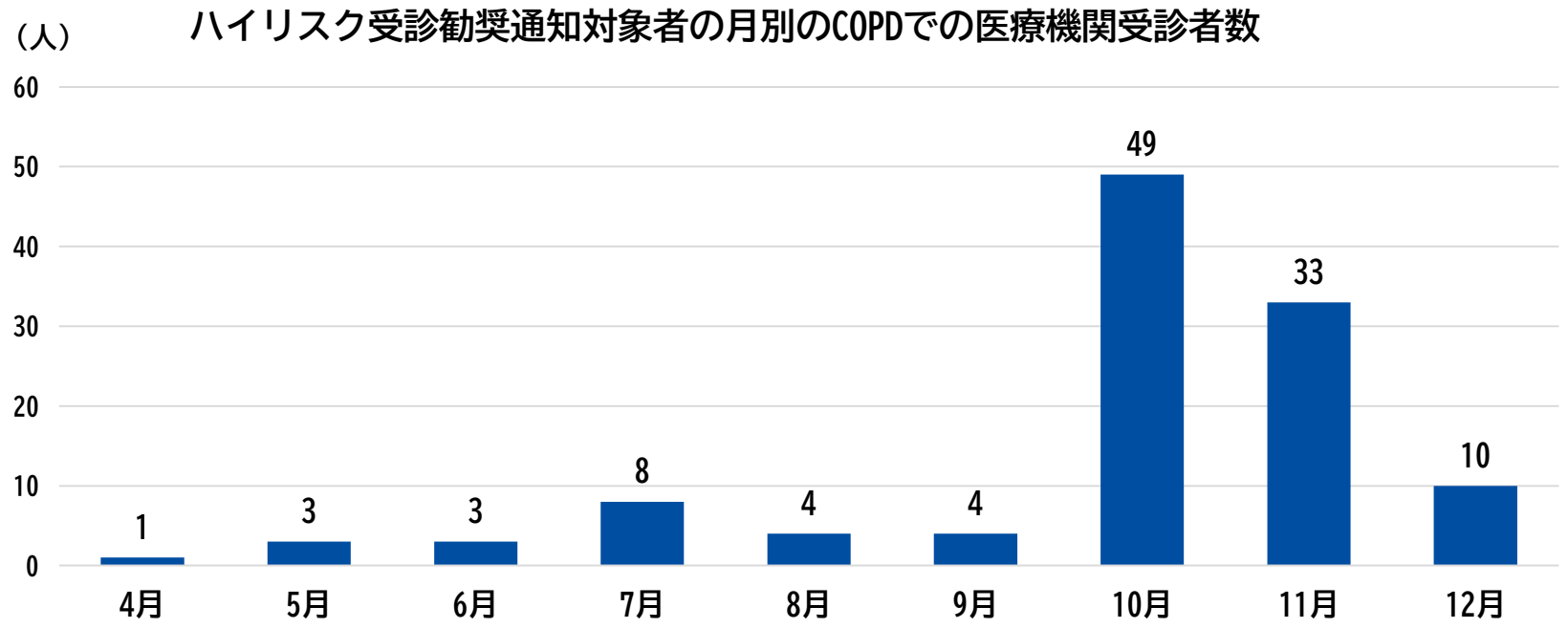


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

2.4 医療機関受診率

受診勧奨通知対象者の月別のCOPD受診者数において、発送した月の翌月が最も受診者数が多い。

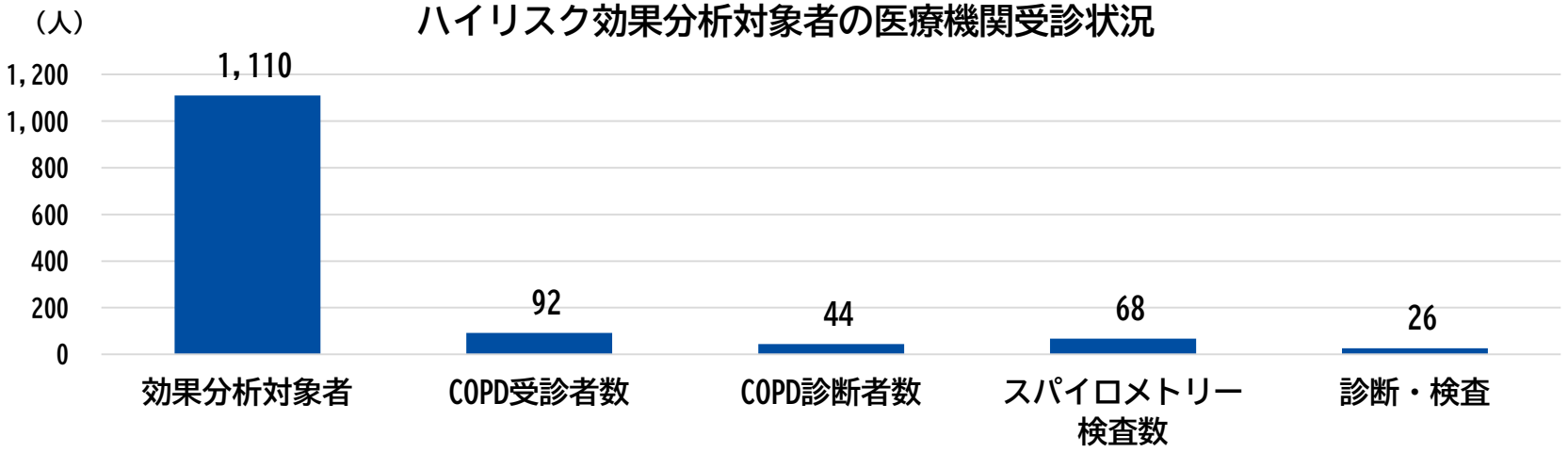


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者
※2024年４-12月においてCOPDの初診で集計

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

2.4 医療機関受診率

効果分析対象者1,110人におけるCOPD受診者数は92人であり、そのうちスパイロメトリー検査を受けた人は68人であった。

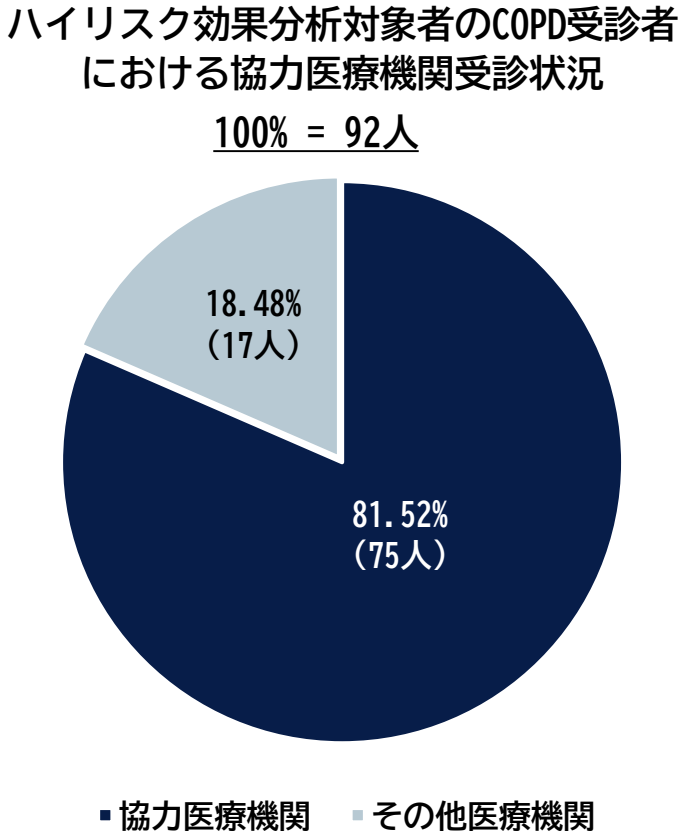


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者
※スパイロメトリー検査数は効果分析対象者におけるスパイロメトリー検査を受けた者を集計
※診断・検査は効果分析期間内にCOPD診断歴とスパイロメトリー検査歴両方ある者を集計

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

2.4 医療機関受診率

ハイリスク効果分析対象者のCOPD受診者に対して、協力医療機関受診率は81.52%であった。

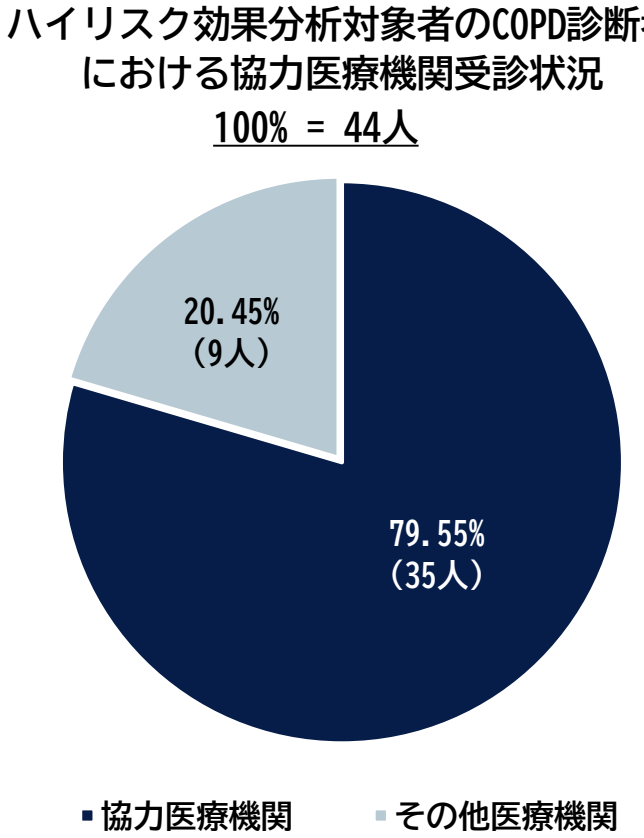


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

2.4 医療機関受診率

ハイリスク効果分析対象者のCOPD診断者に対して、協力医療機関受診率は79.55%であった。

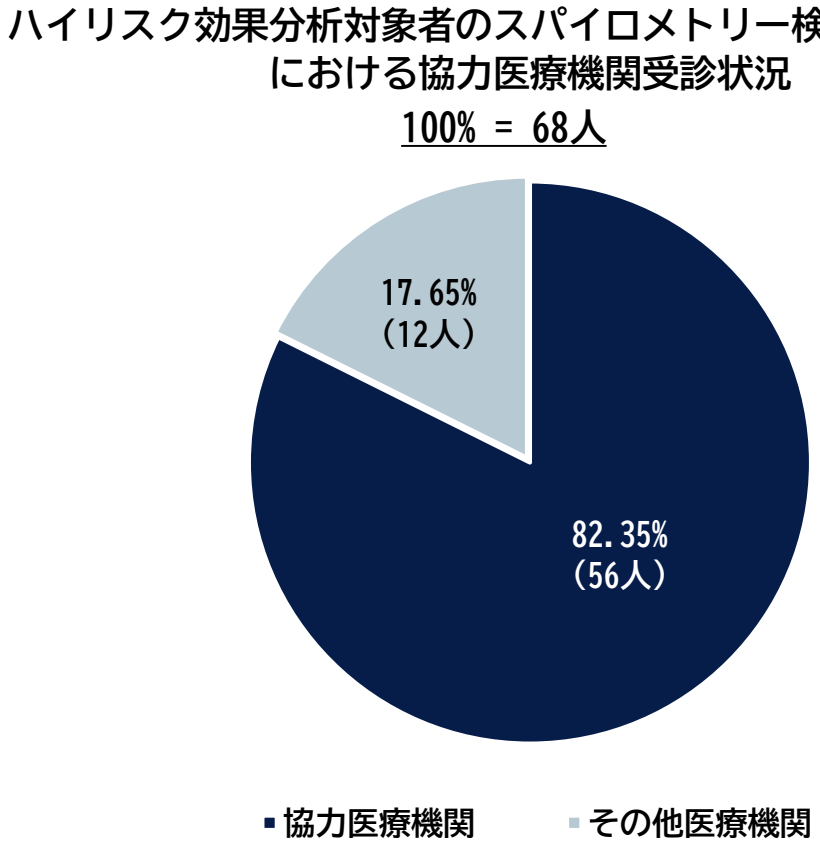


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

2.4 医療機関受診率

ハイリスク効果分析対象者のスパイロメトリー検査を受けた者に対して、協力医療機関受診率は82.35%であった。

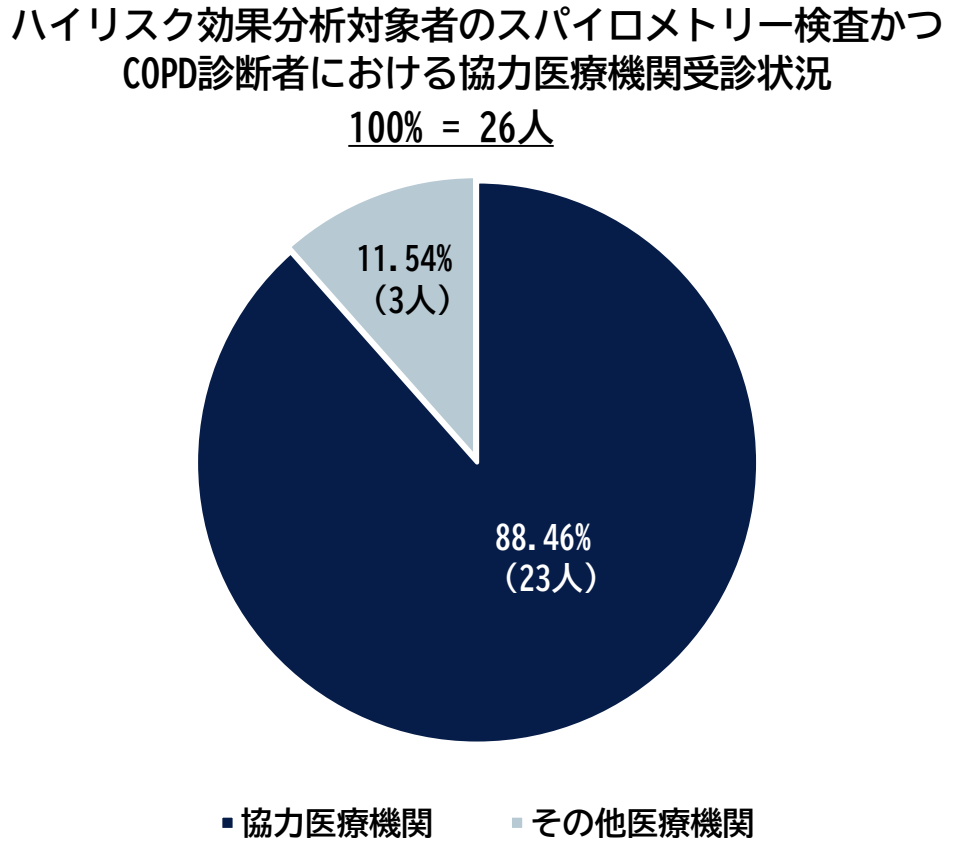


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

2.4 医療機関受診率

ハイリスク効果分析対象者のスパイロメトリー検査かつCOPD診断者に対して、協力医療機関受診率は88.46%であった。

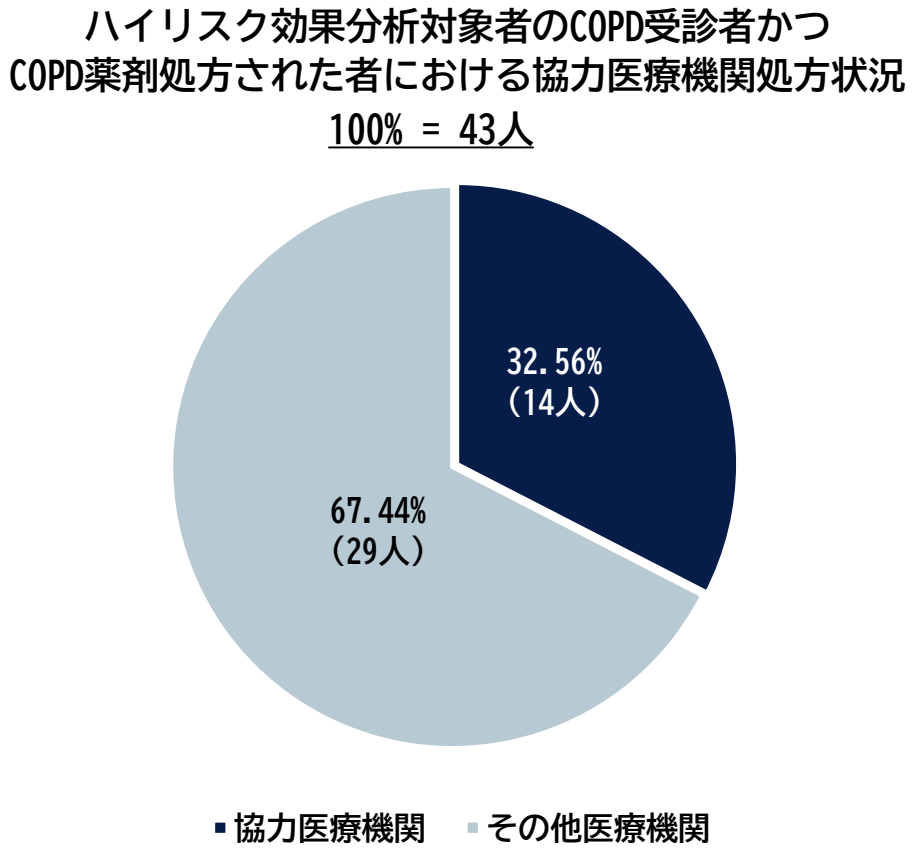


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

2.4 医療機関受診率

ハイリスク効果分析対象者のCOPD受診者かつCOPD薬剤処方された者に対して、協力医療機関での処方率は32.56%であった。



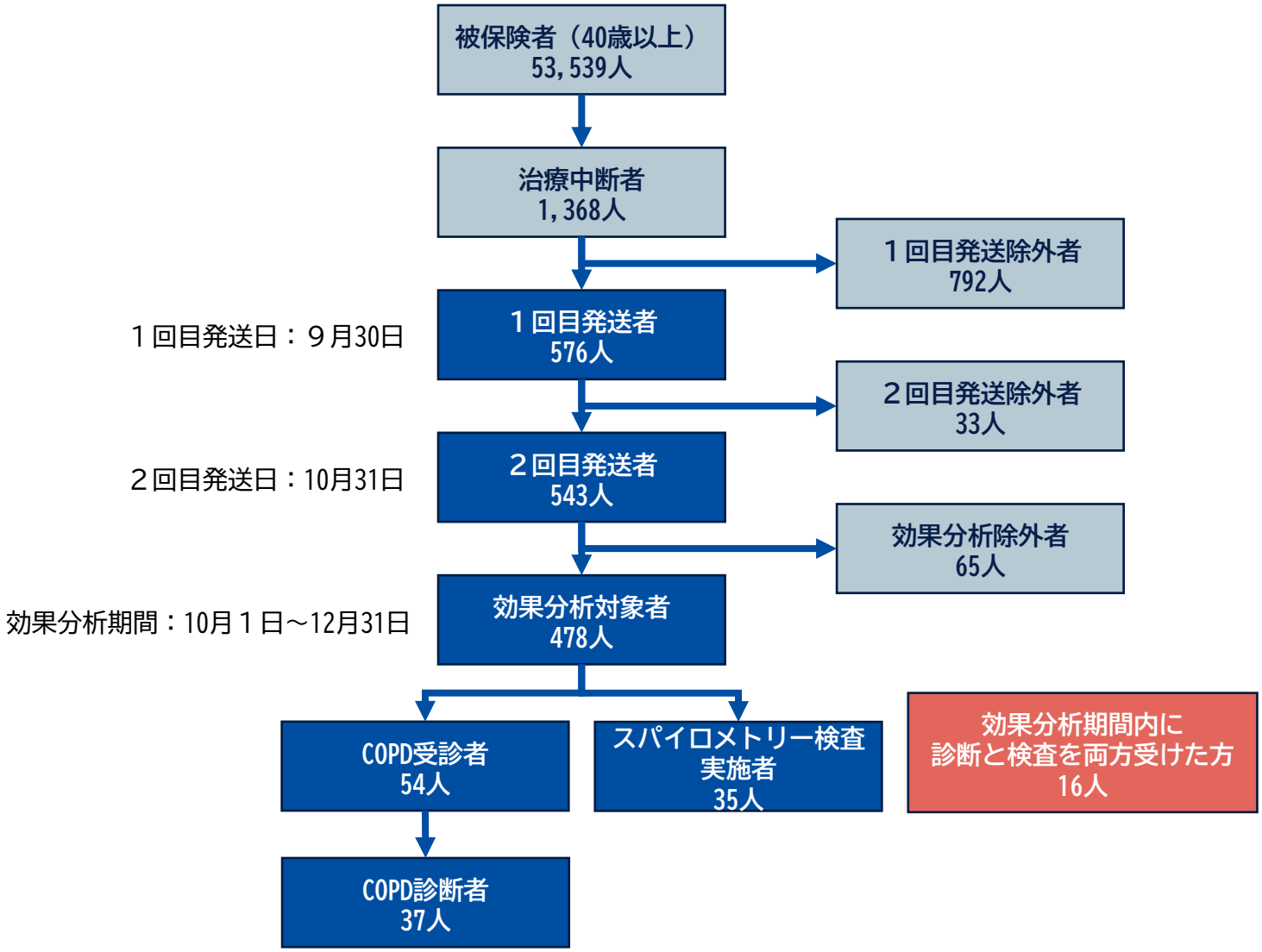
※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

3．治療中断者効果分析 国保

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

3.1 国保 治療中断者の推移

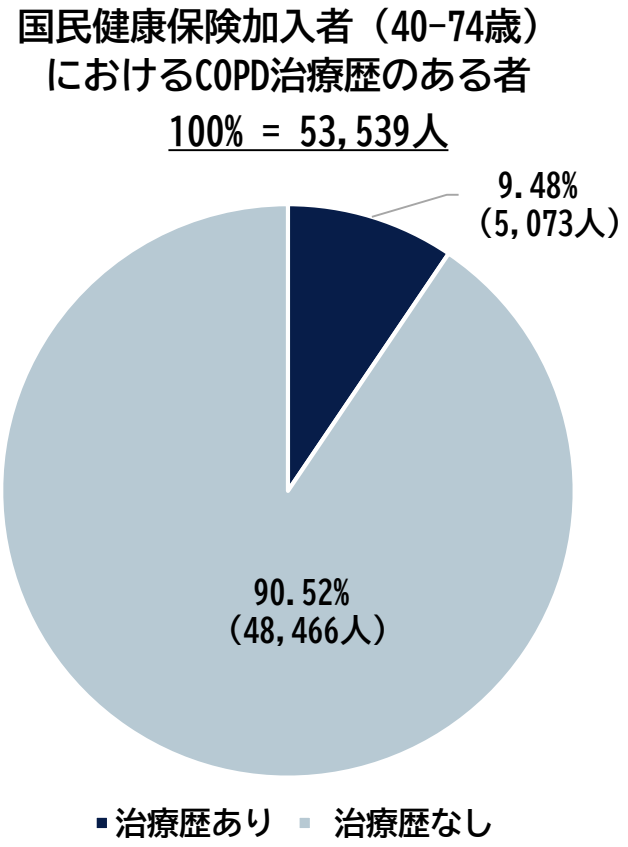


被保険者：令和６年４月時点で被保険者資格を保有している者
発送除外者：高松市による除外者
効果分析対象者：令和７年２月時点で被保険者資格を保有している者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

3.2 COPD治療中断者

国民健康保険加入者（40-74歳）におけるCOPD治療歴のある者の割合は9.48%であった。

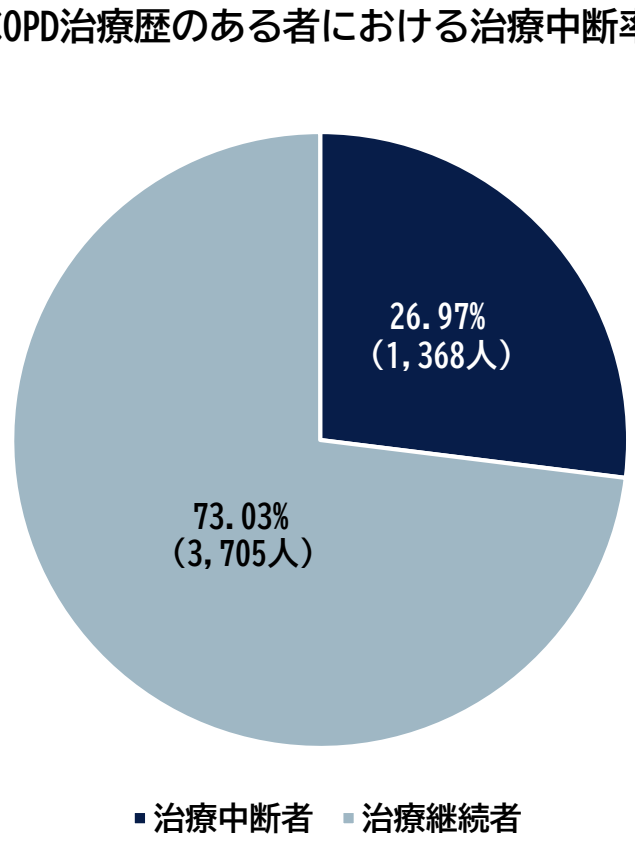


※2024年４月時点で被保険者資格を保有している者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

3.2 COPD治療中断者

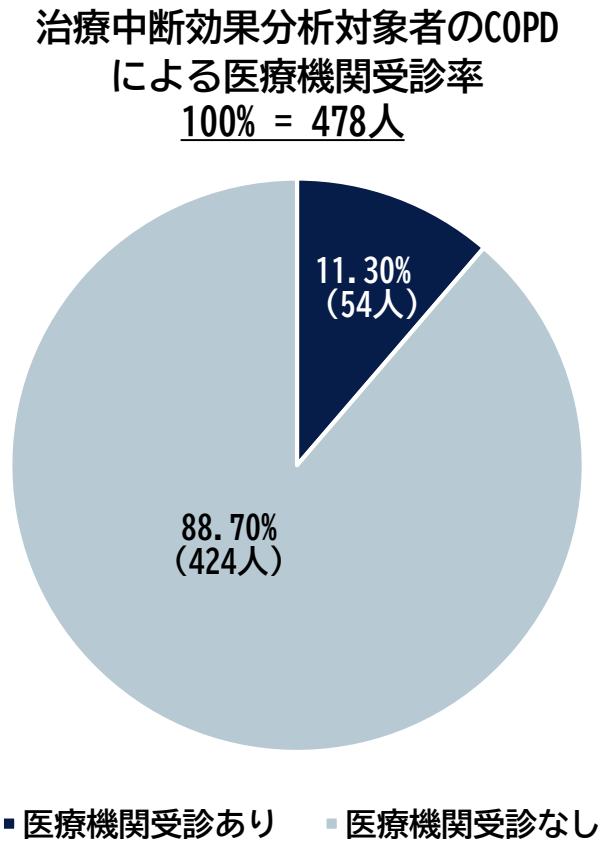
COPD治療歴のある者における治療中断率は26.97%であった。



©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

3.3 医療機関受診率

治療中断効果分析対象者におけるCOPDによる医療機関受診率は11.30%であった。

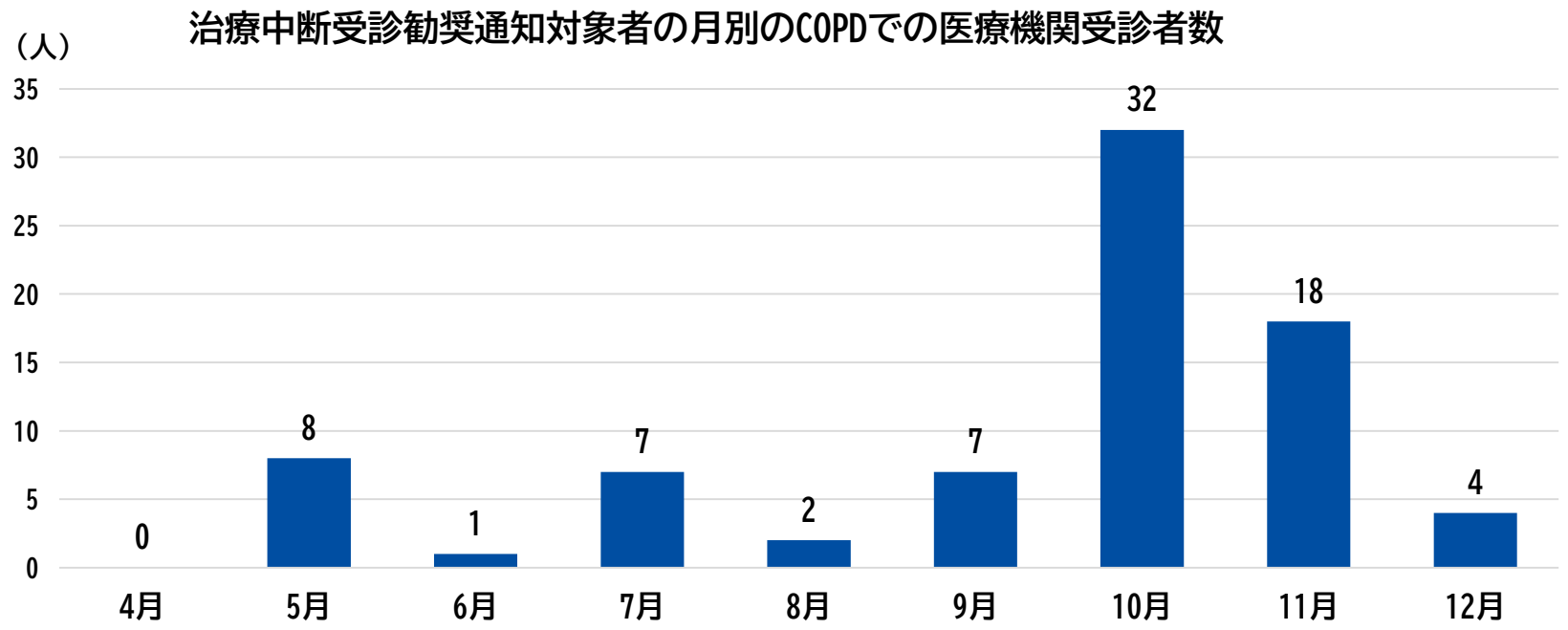


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

3.3 医療機関受診率

治療中断受診勧奨通知対象者の月別のCOPDでの医療機関受診者数において、発送した月の翌月が最も受診者が多い。

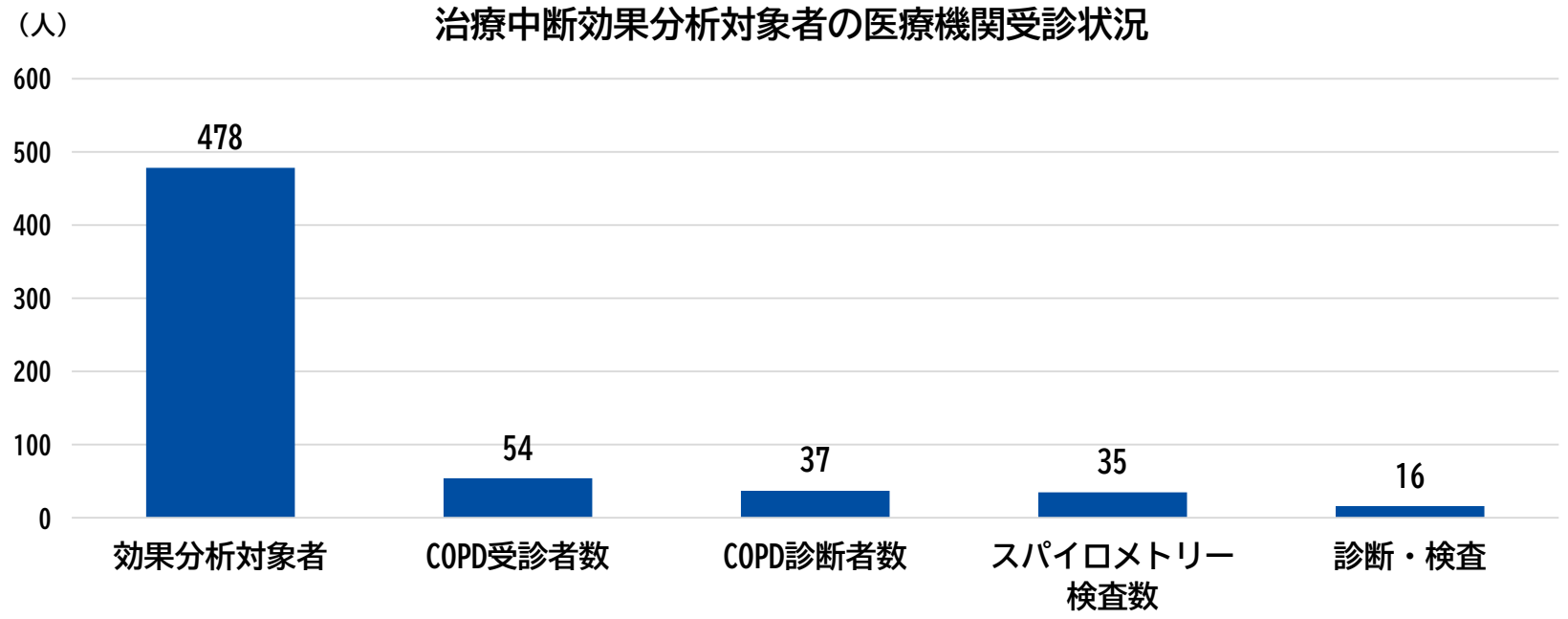


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者
※2024年４-12月においてCOPDの初診で集計

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

3.3 医療機関受診率

治療中断効果分析対象者478人におけるCOPD受診者数は54人であった。また、スパイロメトリー検査を受けた人は35人であった。

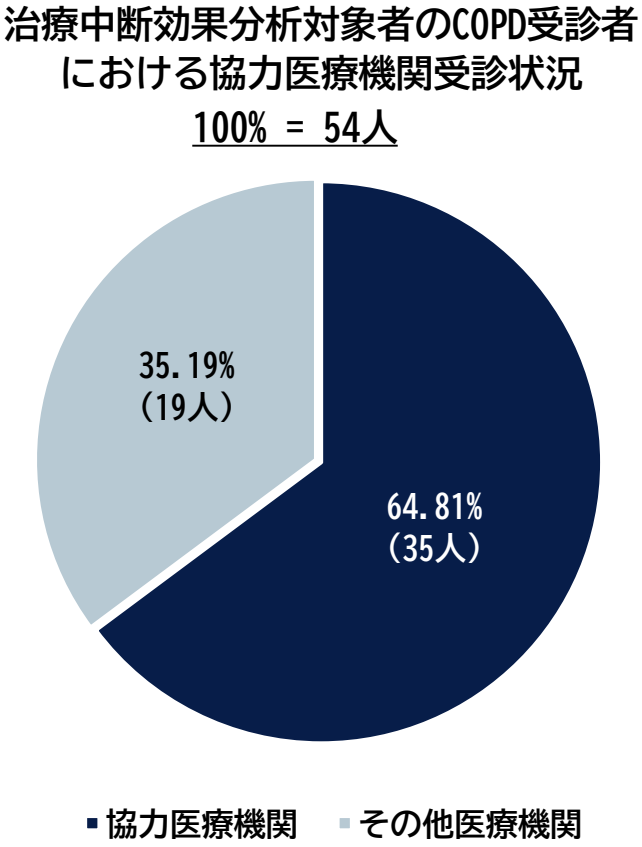


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者
※スパイロメトリー検査数は効果分析対象者におけるスパイロメトリー検査を受けた者を集計
※診断・検査は効果分析期間内にCOPD診断歴とスパイロメトリー検査歴両方ある者を集計

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

3.3 医療機関受診率

治療中断効果分析対象者のCOPD受診者に対して、協力医療機関受診率は64.81%であった。

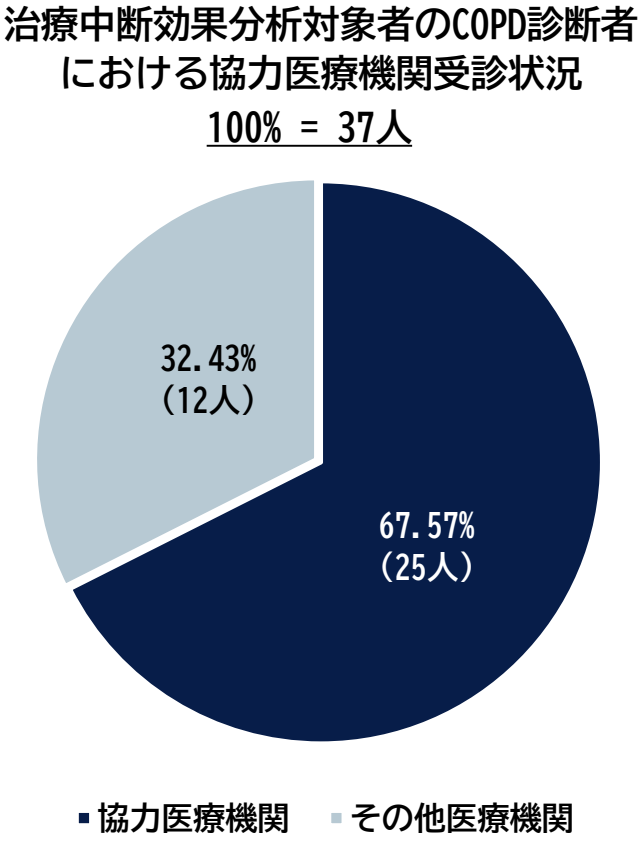


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

3.3 医療機関受診率

治療中断効果分析対象者のCOPD診断者に対して、協力医療機関受診率は67.57%であった。

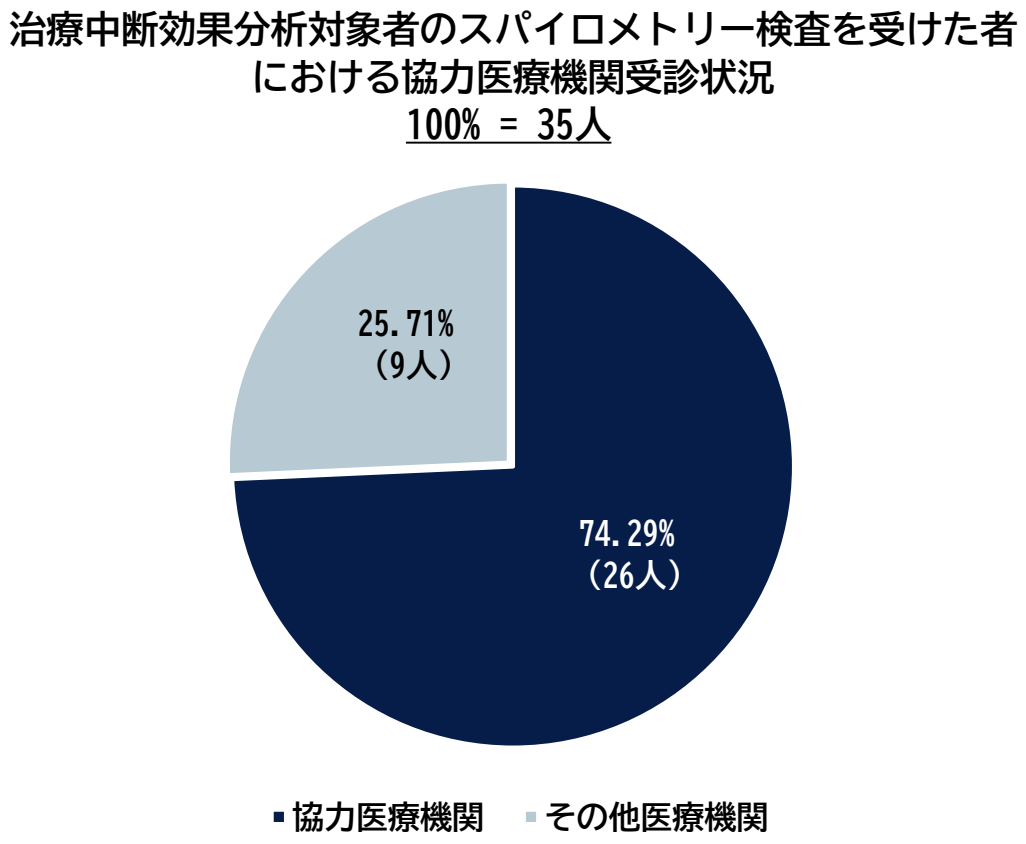


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

3.3 医療機関受診率

治療中断効果分析対象者のスパイロメトリー検査を受けた者に対して、協力医療機関受診率は74.29%であった。

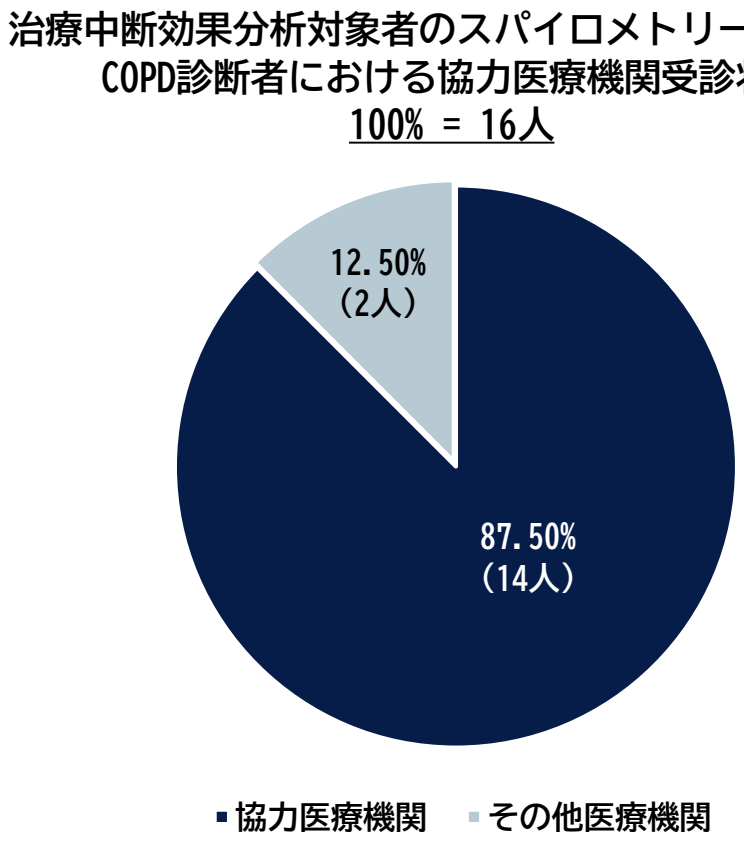


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

3.3 医療機関受診率

治療中断効果分析対象者のスパイロメトリー検査かつCOPD診断者に対して、協力医療機関受診率は87.50%であった。



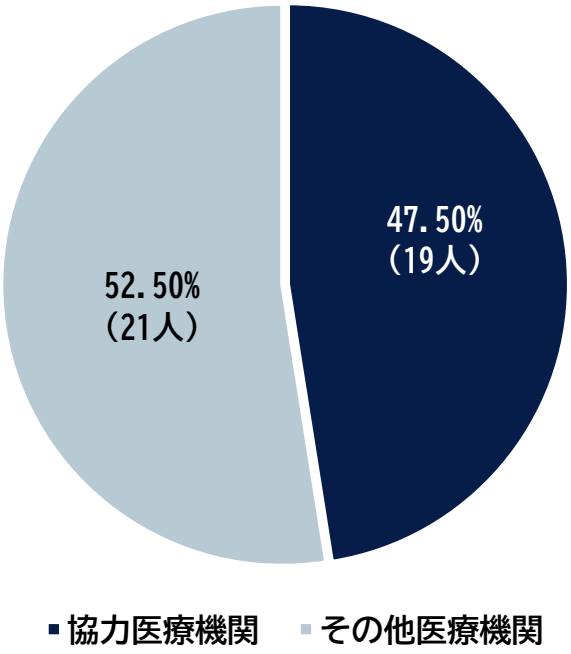
※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

3.3 医療機関受診率

治療中断効果分析対象者のCOPD受診者かつCOPD薬剤処方された者に対して、協力医療機関での処方率は47.50%であった。

治療中断効果分析対象者のCOPD受診者かつ
COPD薬剤処方された者における協力医療機関受診状況
100% = 40人



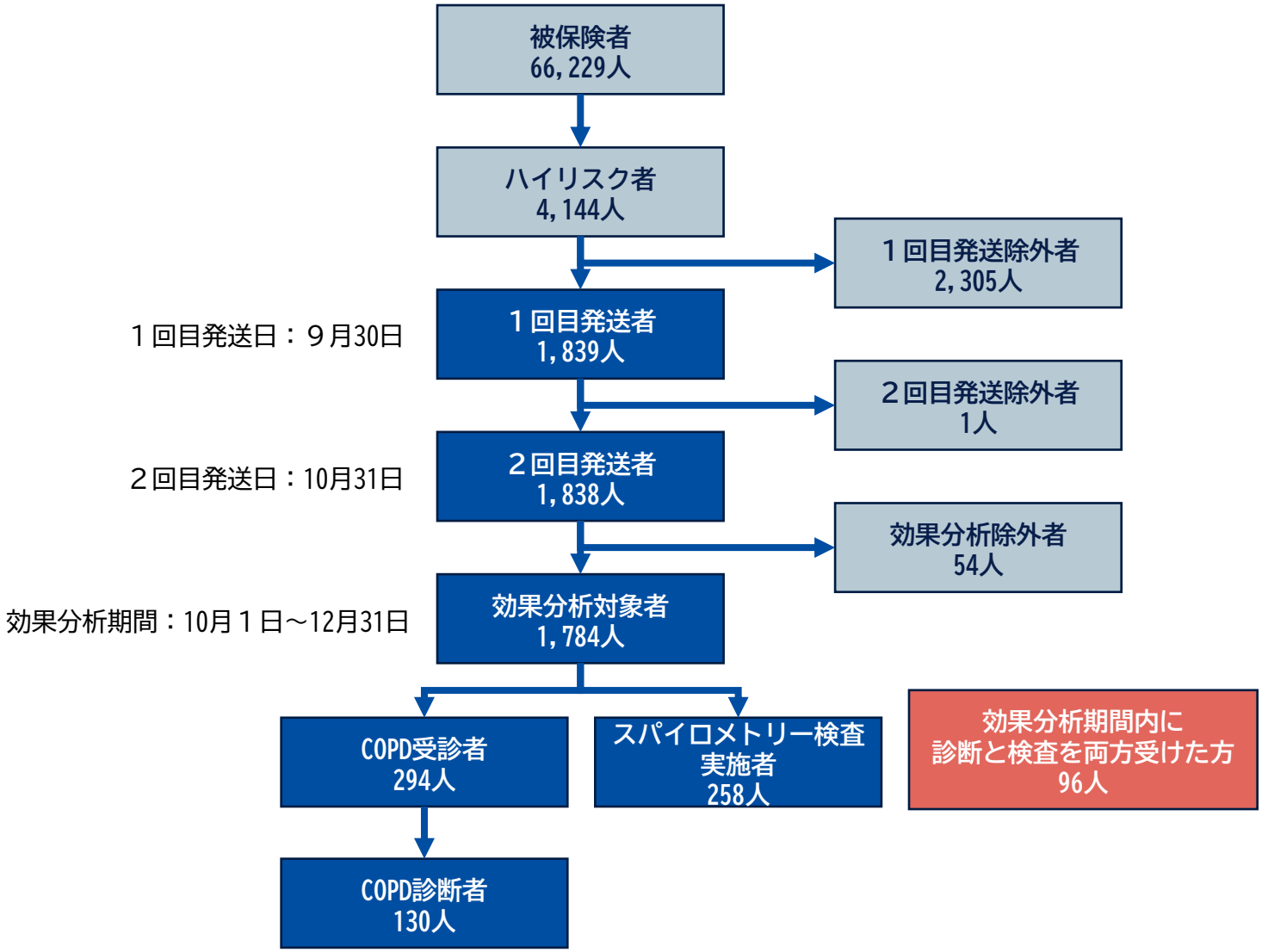
※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

４．ハイリスク者効果分析 後期

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

4.1 後期 ハイリスク者の推移

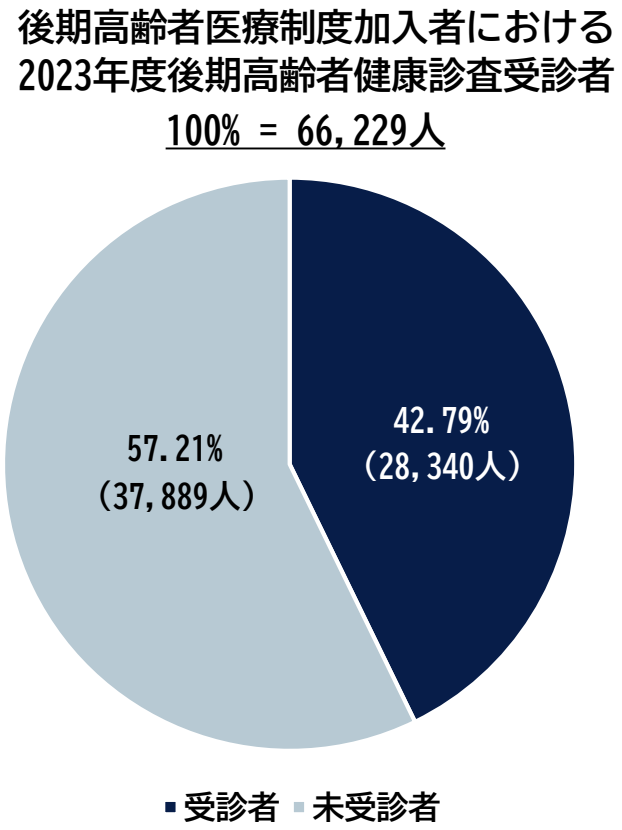


被保険者：令和６年４月時点で被保険者資格を保有している者
発送除外者：高松市による除外者
効果分析対象者：令和７年２月時点で被保険者資格を保有している者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

4.2 後期高齢者健康診査受診者数

2023年度における後期高齢者医療制度加入者に対して、後期高齢者健康診査受診率は42.79%であった。

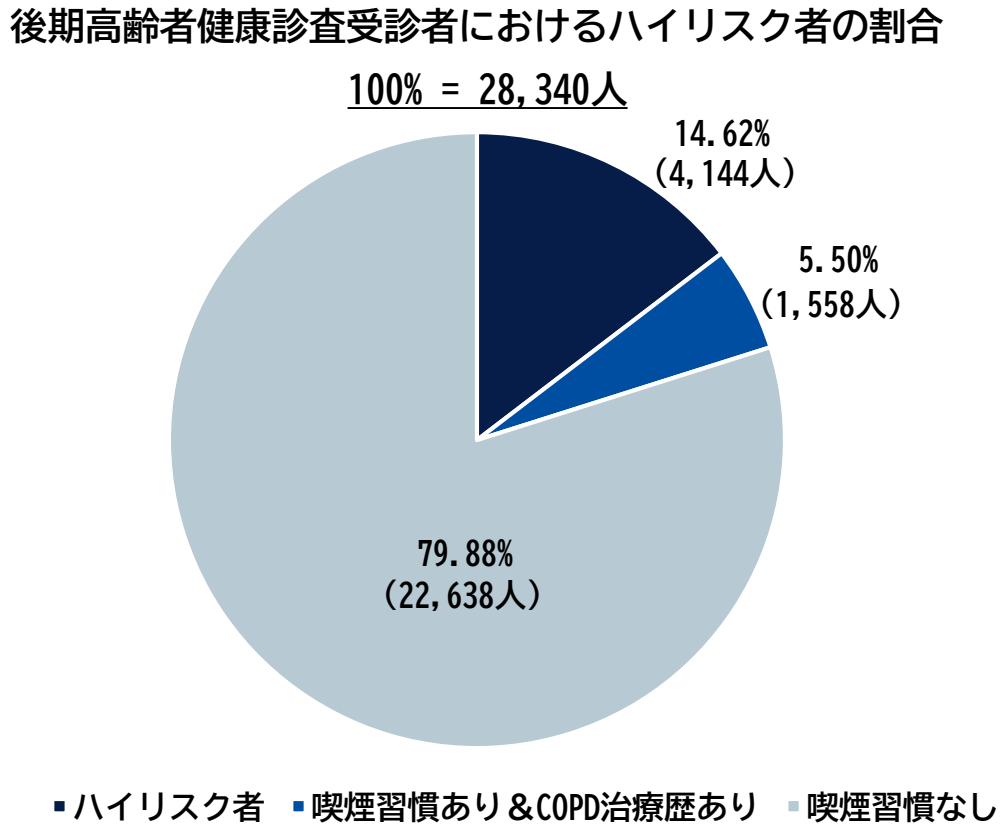


※2024年４月時点で被保険者資格を保有している者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

4.3 COPDハイリスク対象者

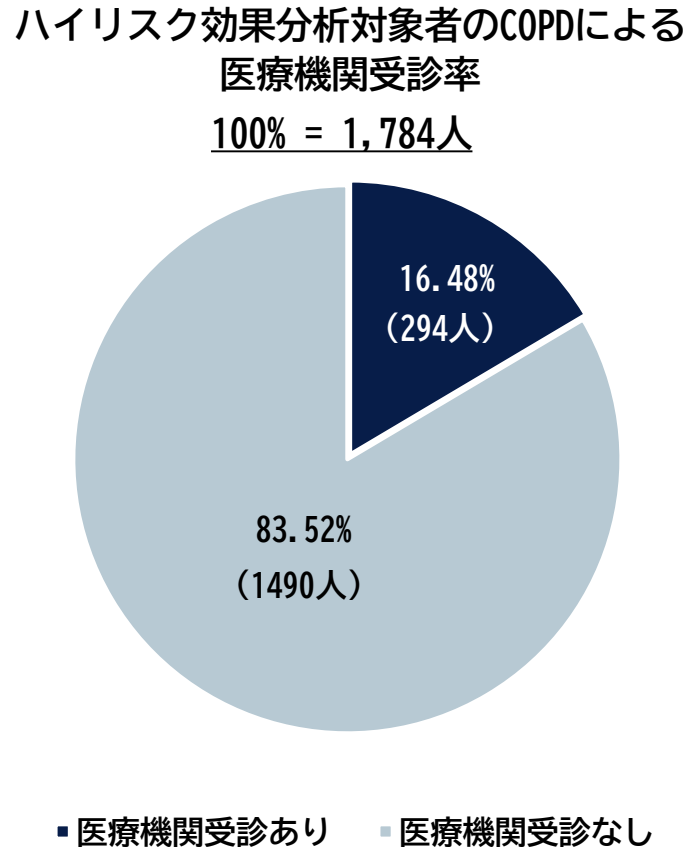
2023年度における健康診査受診者に対して、ハイリスク者の割合は14.62%であった。
また、喫煙習慣ありかつCOPD治療歴ありの割合は5.50%であった。



©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

4.4 医療機関受診率

ハイリスク効果分析対象者1,784人に対して、医療機関受診率は16.48%であった。

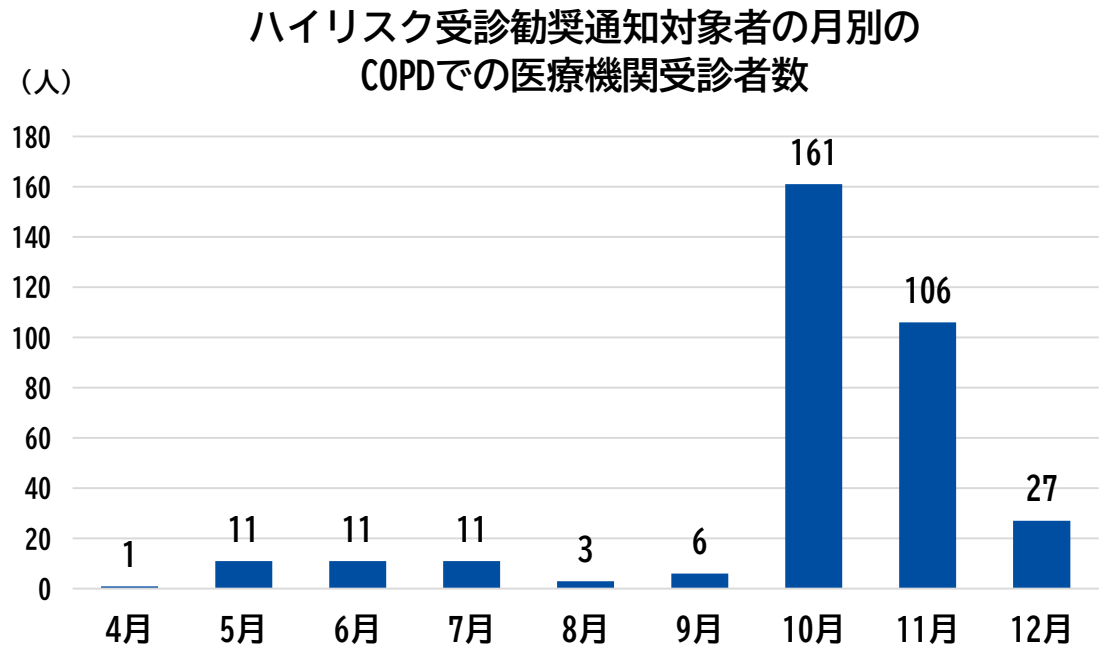


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

4.4 医療機関受診率

受診勧奨通知対象者の月別のCOPD受診者数において、発送した月の翌月が最も受診者が多い。

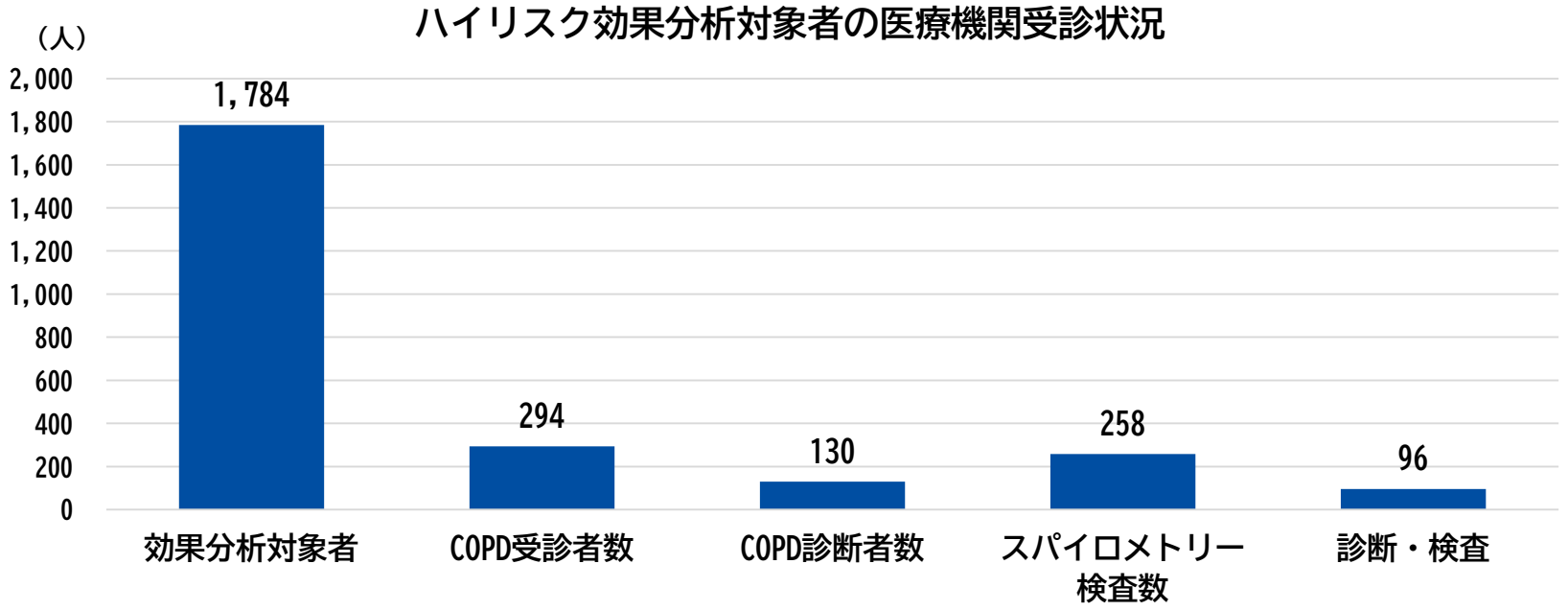


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者
※2024年４-12月においてCOPDの初診で集計

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

4.4 医療機関受診率

効果分析対象者1,784人におけるCOPD受診者は294人であり、そのうちCOPD診断者数は130人であった。また、スパイロメトリー検査を受けた人は258人であった。

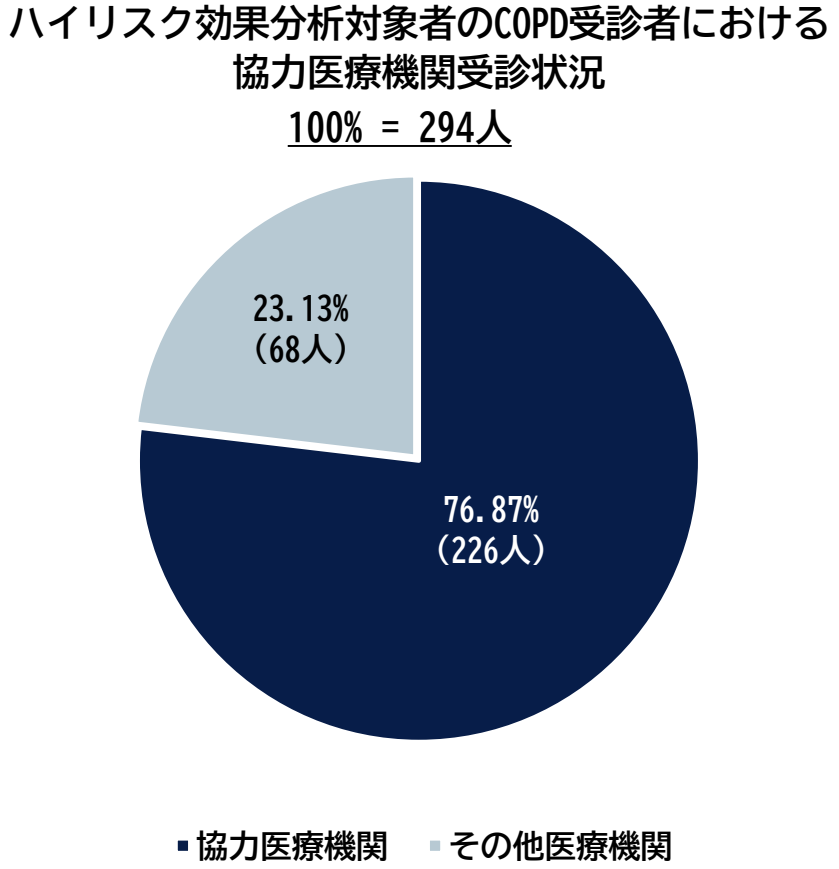


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者
※スパイロメトリー検査数は効果分析対象者におけるスパイロメトリー検査を受けた者を集計
※診断・検査は効果分析期間内にCOPD診断歴とスパイロメトリー検査歴両方ある者を集計

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

4.4 医療機関受診率

ハイリスク効果分析対象者のCOPD受診者に対して、協力医療機関受診率は76.87%であった。

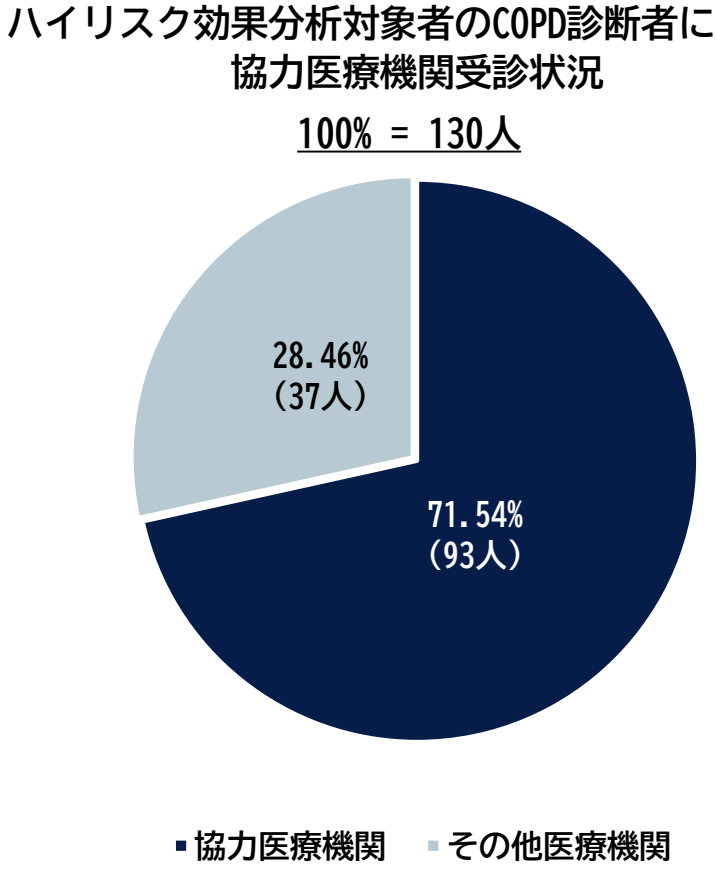


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

4.4 医療機関受診率

ハイリスク効果分析対象者のCOPD診断者に対して、協力医療機関受診率は71.54%であった。

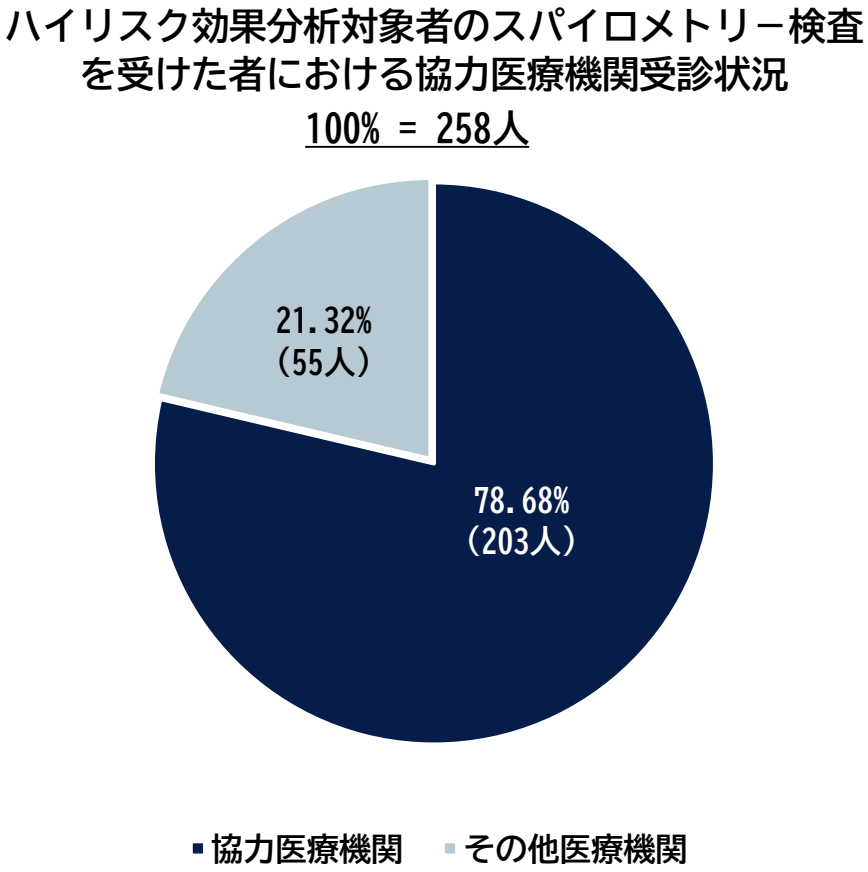


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

4.4 医療機関受診率

ハイリスク効果分析対象者のスパイロメトリー検査を受けた者に対して、協力医療機関受診率は78.68%であった。

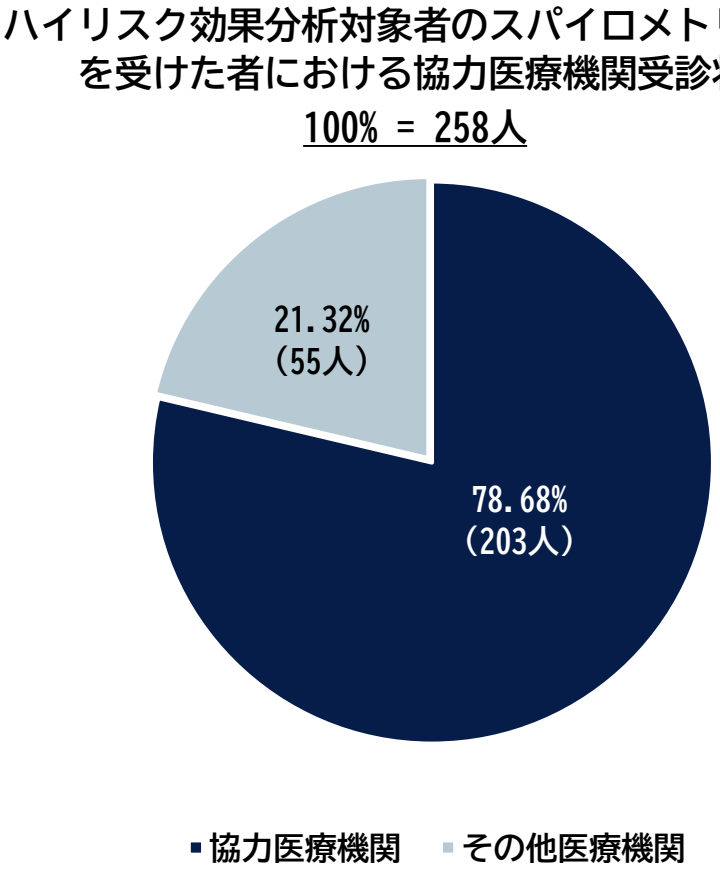


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

4.4 医療機関受診率

ハイリスク効果分析対象者のスパイロメトリー検査かつCOPD診断者に対して、協力医療機関受診率は78.68%であった。

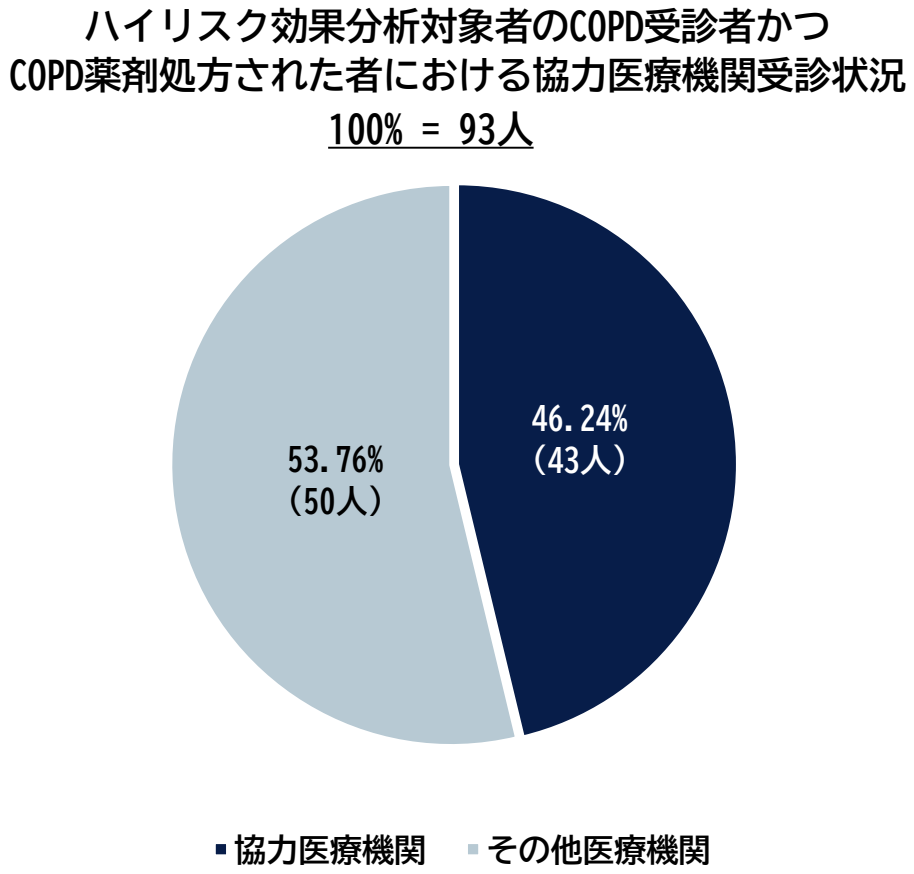


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

4.4 医療機関受診率

ハイリスク効果分析対象者のCOPD受診者かつCOPD薬剤処方された者に対して、協力医療機関での処方率は46.24%であった。



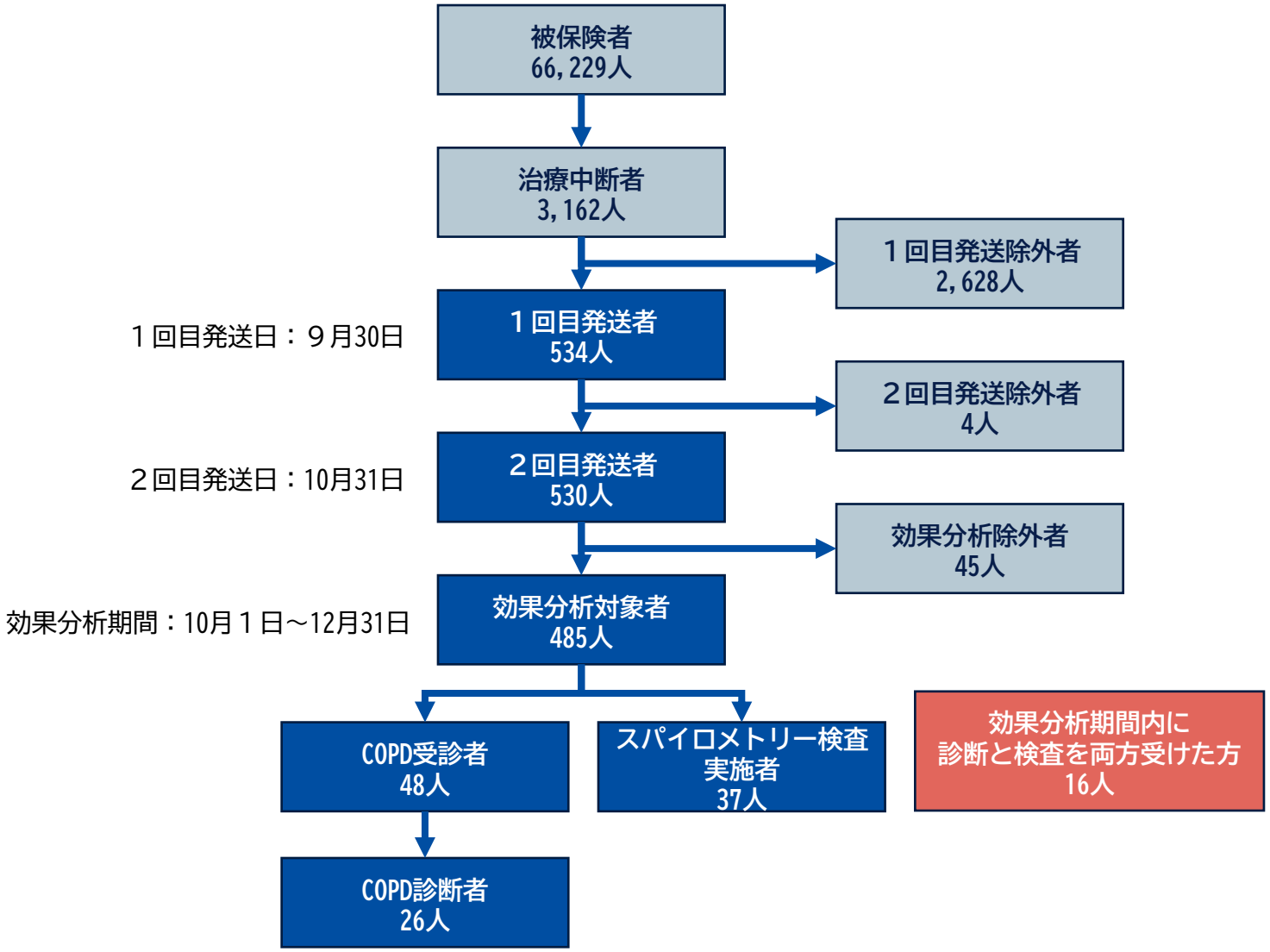
※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

５．治療中断者効果分析　後期

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

5.1 後期 治療中断者の推移

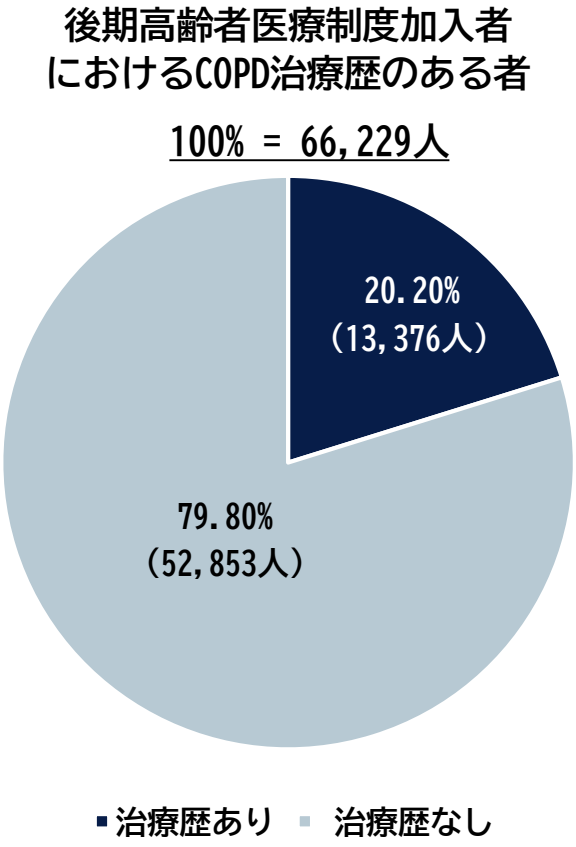


被保険者：令和６年４月時点で被保険者資格を保有している者
発送除外者：高松市による除外者
効果分析対象者：令和７年２月時点で被保険者資格を保有している者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

5.2 COPD治療中断者

後期高齢者医療制度加入者におけるCOPD治療歴のある者の割合は20.20%であった。

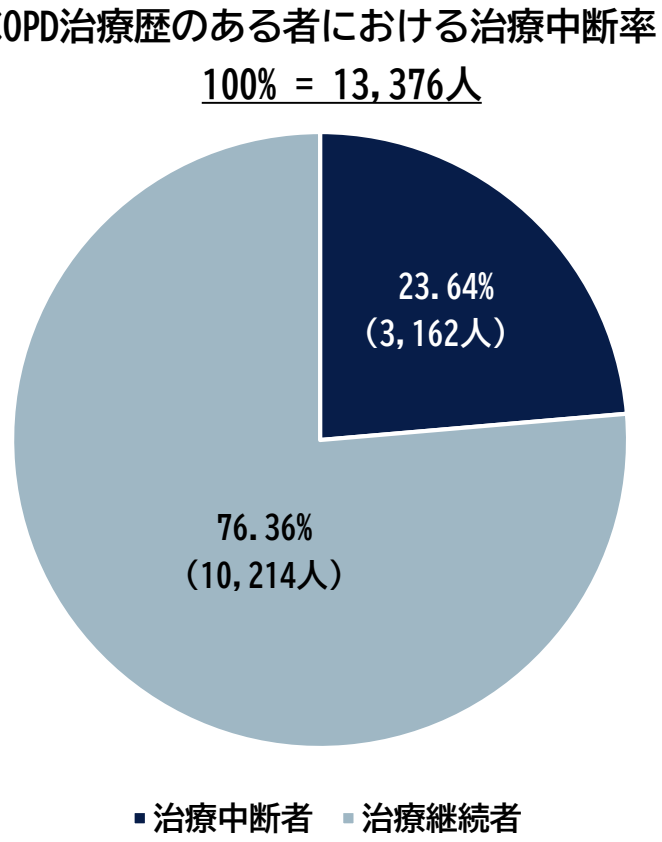


※2024年４月時点で被保険者資格を保有している者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

5.2 COPD治療中断者

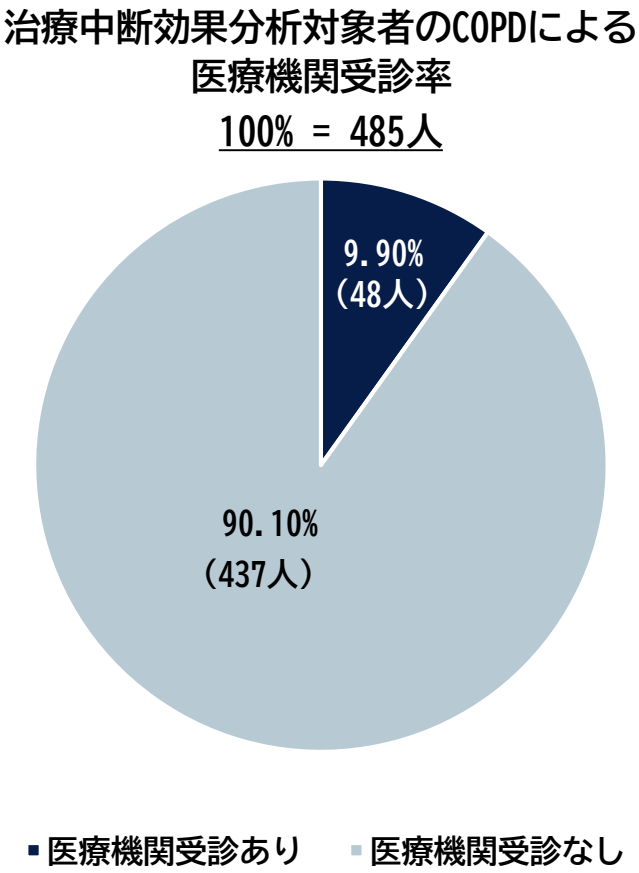
COPD治療歴のある者における治療中断率は23.64%であった。



©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

5.3 医療機関受診率

治療中断効果分析対象者におけるCOPD医療機関受診率は9.90%であった。

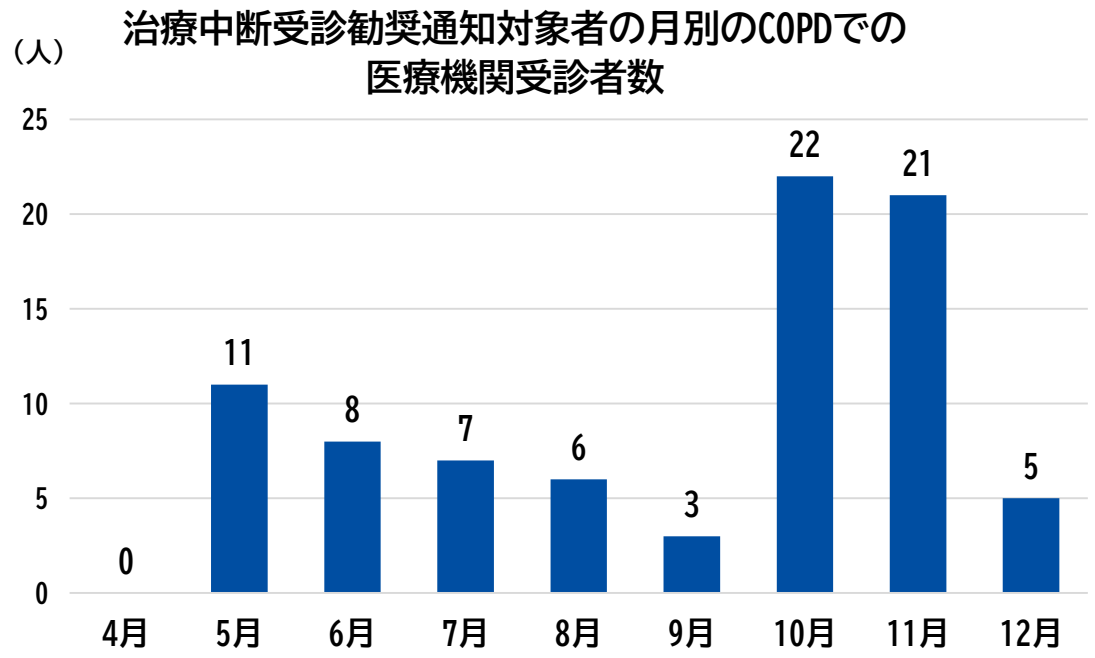


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

5.3 医療機関受診率

治療中断受診勧奨通知対象者の月別のCOPDでの医療機関受診者数において、発送した月の翌月が最も受診者が多い。

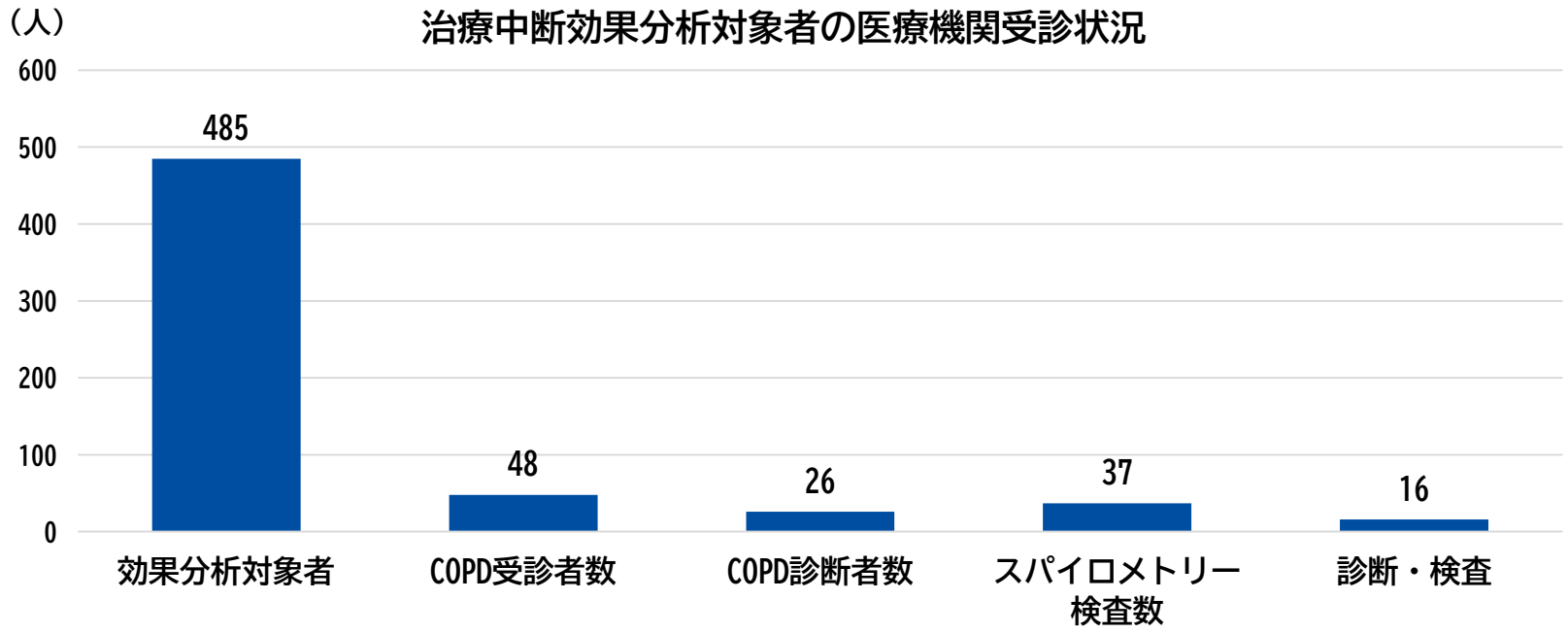


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者
※2024年４-12月においてCOPDの初診で集計

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

5.3 医療機関受診率

治療中断効果分析対象者485人におけるCOPD受診者は48人であった。また、スパイロメトリー検査を受けた人は37人であった。

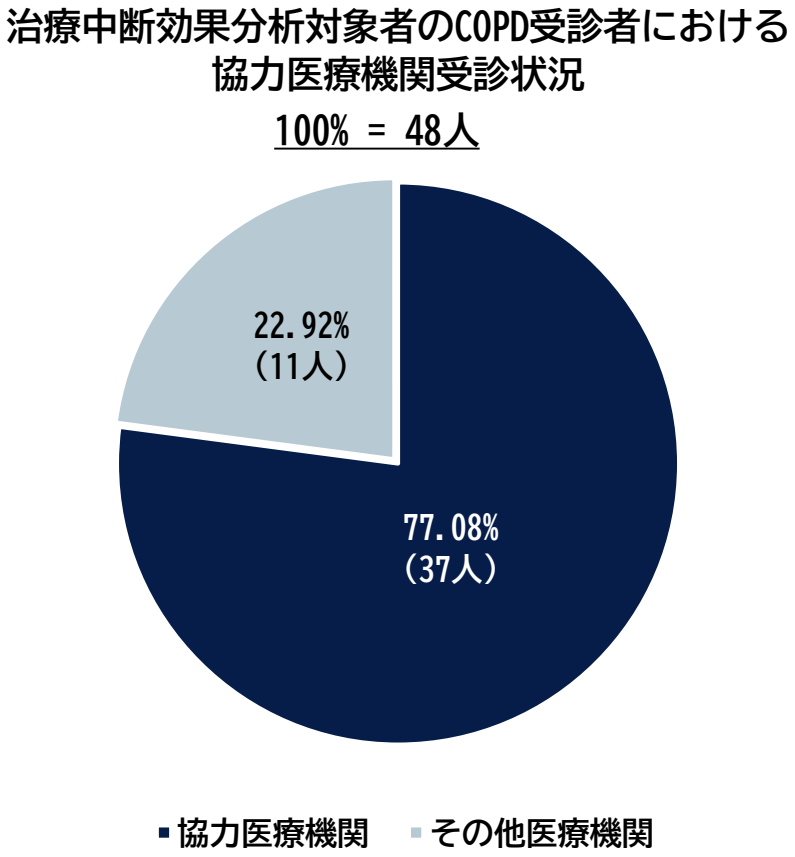


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者
※スパイロメトリー検査数は効果分析対象者におけるスパイロメトリー検査を受けた者を集計
※診断・検査は効果分析期間内にCOPD診断歴とスパイロメトリー検査歴両方ある者を集計

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

5.3 医療機関受診率

治療中断効果分析対象者のCOPD受診者に対して、協力医療機関受診率は77.08%であった。



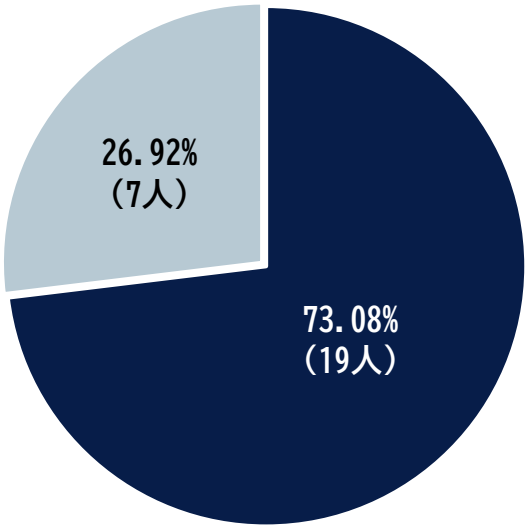
※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

5.3 医療機関受診率

治療中断効果分析対象者のCOPD診断者に対して、協力医療機関受診率は73.08%であった。

治療中断効果分析対象者のCOPD診断者における
協力医療機関受診状況
100% = 26人

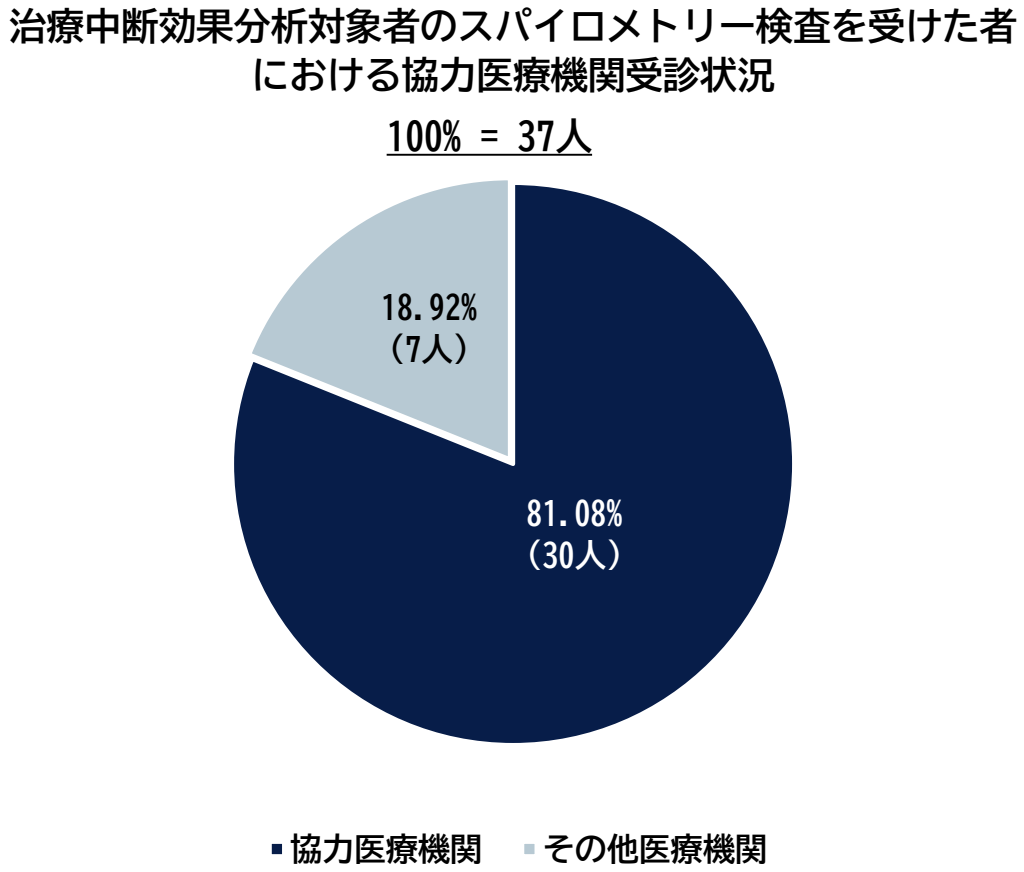


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

5.3 医療機関受診率

治療中断効果分析対象者のスパイロメトリー検査を受けた者に対して、協力医療機関受診率は81.08%であった。

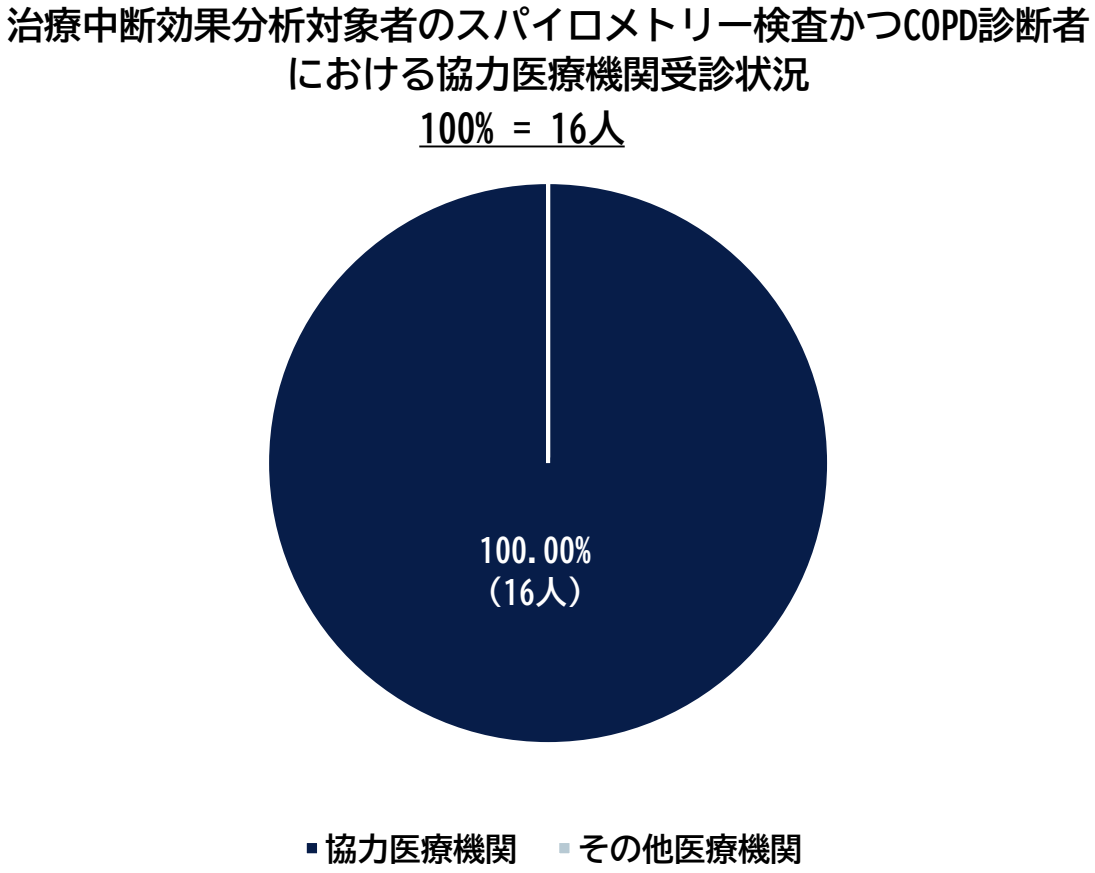


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

5.3 医療機関受診率

治療中断効果分析対象者のスパイロメトリー検査かつCOPD診断者に対して、協力医療機関受診率は100%であった。

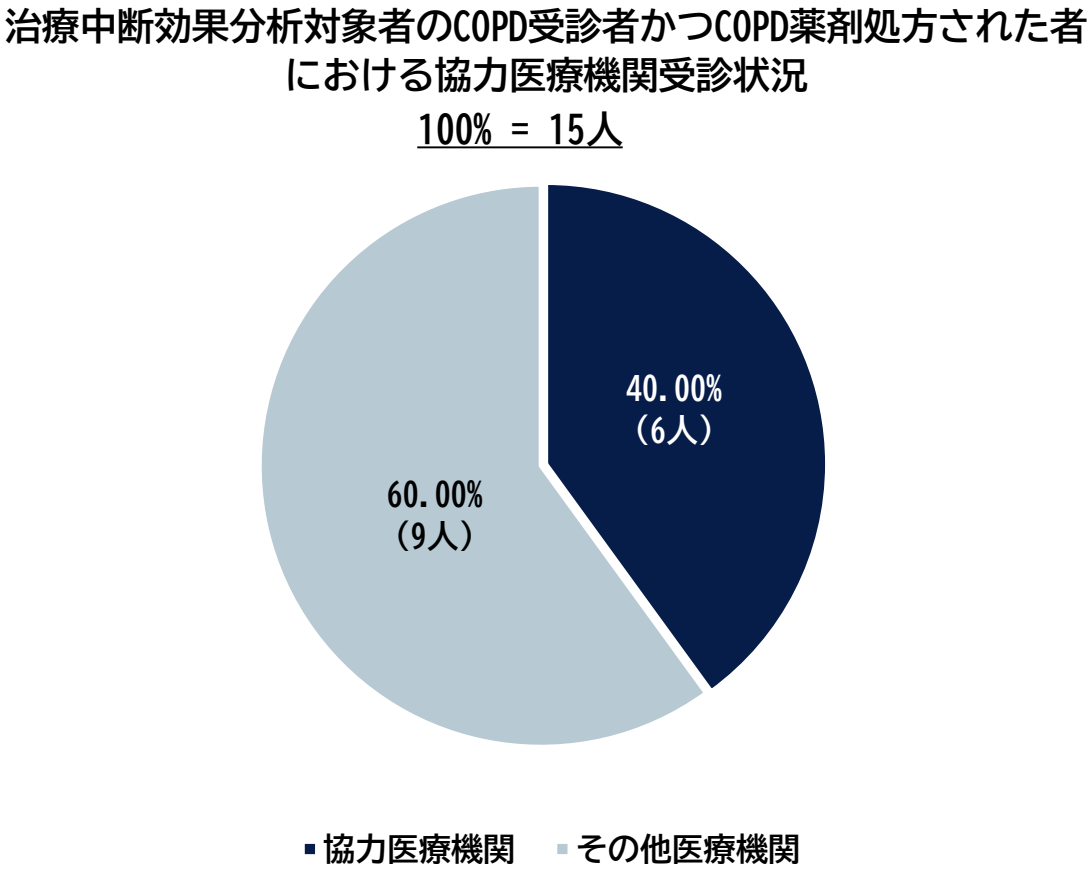


※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

5.3 医療機関受診率

治療中断効果分析対象者のCOPD受診者かつCOPD薬剤処方された者に対して、協力医療機関での処方率は40.00%であった。



※効果分析期間は2024年10-12月
※効果分析対象者は通知対象者における2024年５-９月にCOPD受診歴がない者

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

6. 事業総括

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

6.1 事業総括

【総括】

- 令和６年度からは事業フローの見直しを行い、１回目の封入物に高松市内でCOPDの検査・診断が可能な「協力医療機関一覧」を同封し、発送を行った。
- 国保・後期のハイリスク者と治療中断者の受診率の合計は令和４年度及び令和５年度と比べて高い割合であった。
- 効果分析対象者におけるスパイロメトリー検査の実施率の合計は令和３年度から令和５年度と比べて高い割合であった。
- 協力医療機関でのスパイロメトリー検査の実施率は全ての区分で70%以上であった。

【結論】

- 令和６年度から開始した地域の医師の同意を得た上で地域の専門医に紹介を促す受診勧奨スキーム（以降：高松市モデル）は、肺機能検査（スパイロメトリー検査）の実施率を高めている可能性が示唆されており、全国に展開すべき好事例となる可能性がある。

項目	通知発送者（人）（A）				効果検証対象者（人）（B）				受診人数（人）（C）				肺機能検査（スパイロメトリー）（人）（D）				診断（人）（E）				処方人数（人）（F）			
	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6
国保ハイリスク	1,981	1,805	1,664	1,227		1,659	1,500	1,110	53	163	61	92	34	111	44	62	36	108	33	44	31	29	12	15
国保治療中断者	686	305	312	576		280	265	478	32	44	19	54	14	23	8	28	28	25	7	37	24	21	10	17
後期ハイリスク				1,839				1,784				294				230				130				47
後期治療中断者	664	217	161	534		177	136	485	48	34	15	48	18	18	7	33	41	23	8	26	36	12	6	7
合計	3,331	2,327	2,137	4,176		2,116	1,901	3,857	133	241	95	488	66	152	59	353	105	156	48	237	91	62	28	86

項目	処方（３剤配合剤）（人）（G）				受診率（C/B）				肺機能検査率（スパイロメトリー）（D/C）				診断率（E/C）				処方割合（F/C）				３剤配合剤処方割合（G/F）			
	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6	R3	R4	R5	R6
国保ハイリスク	5	9	3	4		9.8%	4.1%	8.3%	64.2%	68.1%	72.1%	67.4%	68%	66%	54%	48%	58%	18%	20%	16%	16%	31%	25%	27%
国保治療中断者	6	8	3	8		15.7%	7.2%	11.3%	43.8%	52.3%	42.1%	51.9%	88%	57%	37%	69%	75%	48%	53%	31%	19%	38%	30%	47%
後期ハイリスク				16				16.0%				78.2%				44%				16%				34%
後期治療中断者	8	3	2	2		19.2%	11.0%	9.9%	37.5%	52.9%	46.7%	68.8%	85%	68%	53%	54%	75%	35%	40%	15%	26%	25%	33%	29%
合計	19	20	8	30		11.4%	5.0%	12.7%	49.6%	63.1%	62.1%	72.3%	79%	65%	51%	49%	68%	26%	29%	18%	21%	32%	29%	35%

※令和３年度～令和５年度は他事業者が作成した報告書の数値の抜粋であるため、各年度ごとの定義が同一である保証はできない

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.

未来を、仕掛ける。

日本システム技術株式会社

https://www.jast.jp/

©2025 Japan System Techniques Co., Ltd.